

# 令和元年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和2年9月

那覇市	1	嘉手納町	67
宜野湾市	11	北谷町	70
石垣市	17	北中城村	72
浦添市	23	中城村	75
名護市	28	西原町	78
糸満市	33	与那原町	80
沖縄市	34	南風原町	84
豊見城市	38	渡嘉敷村	88
うるま市	41	座間味村	90
宮古島市	45	栗国村	91
南城市	48	渡名喜村	93
国頭村	51	南大東村	94
大宜味村	52	北大東村	95
東村	53	伊平屋村	96
今帰仁村	54	伊是名村	98
本部町	56	久米島町	101
恩納村	58	八重瀬町	103
宜野座村	59	多良間村	106
金武町	61	竹富町	108
伊江村	63	与那国町	110
読谷村	65		

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・外国人観光客の案内所の利用者 H29年度 年間16,865人 H30年度：17,700人（前年度比5%増） R1年度：18,585人（前年度比5%増） ・本事業について、外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・外国人観光客の案内所の利用者：10,762人 ・利便性が確保されたか：99%	○
01 那覇市	1 2	交流オアシス整備事業	H24 ～ R1	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース（交流スペース）の整備を行う。	本事業により整備した小広場（交流スペース）について、観光客へのアンケート調査を実施し、小広場を交流・憩いの場として活用できたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	小広場を交流・憩いの場として活用できたか 80%	◎
01 那覇市	1 3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	－	繰
01 那覇市	1 4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか 80%	◎
01 那覇市	1 5	垂熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、トイレ整備、公園の美化（剪定・植栽）等を行う。	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、①トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、②観光地としてふさわしい公園景観であると感じるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	－	繰
01 那覇市	1 6	福州園再整備事業	H28 ～ R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	・福州園再整備工事（1期）の完了	－	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	リュウキュウマツへの薬剤注入 270本	○
01 那覇市	1 8	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R3	亜熱帯ならではの緑化景観を創出するため、市内の観光振興に資する路線沿線を対象に、市民等へ草花苗を配布し、花壇への植付等を行う。	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか（80%以上）」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか 84%	◎
01 那覇市	1 9	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R3	幹線市道や観光地周辺市道の美化（剪定・除草・植栽整備等）を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	本事業（剪定・除草・植栽整備等）による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか 80%	◎
01 那覇市	1 10	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	那覇ハーリー来場者数：192,000人 （参考：平成30年164,000人）  「那覇大綱挽」来場者数：272,600人 （参考：平成30年 270,000人）  「琉球王朝祭り首里」来場者数：48,600人 （参考：平成30年度は中止。平成29年度48,600人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇ハーリー来場者数：202,000人</li> <li>・「那覇大綱挽」来場者数：270,000人</li> <li>・「琉球王朝祭り首里」来場者数：中止</li> </ul>	△
01 那覇市	1 11	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向を把握し、その結果の活用を図る。	観光入込統計調査の完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光入込統計調査の完了</li> <li>・宿泊人数の年平均伸び率3.57%増</li> <li>・平均宿泊数の年平均伸び率0.66%増</li> </ul>	△
01 那覇市	1 12	那覇と周辺離島の連携による観光振興事業	H29 ～ R1	周辺離島航路発着場において観光案内所を設置し、本市や沖縄観光全般（特に周辺離島）に係る観光情報を提供し、観光客の利便性の確保を目的とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所利用者数：8,000名。 （参考：平成30年度観光案内所利用者数8,412人）</li> <li>・本事業について、観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所利用者数 7,512名</li> <li>・利便性が確保されたか 100%</li> </ul>	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：39,220人 (参考：平成30年度：37,000人)	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：27,000人	未
01 那覇市	1 14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数：13,800人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 85,321人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数 17,309人	○
01 那覇市	1 15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人	読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 85,321人	○
01 那覇市	1 16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量1日：21,200人	歩行者通行量1日：22,846人	◎
01 那覇市	1 17	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	来場者数：96,000人	来場者数：90,800人	○
01 那覇市	1 18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 11,500人	参加者数 9,217人	○
01 那覇市	1 19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 11,150人	来館者数 14,776人	◎
01 那覇市	1 20	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	(1) 仮設市場賃貸借の実施 (2) 商業支援業務等の完了	・仮設市場賃貸借の実施 ・商業支援業務等の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	視聴者測定システムによる集計数 H29年度実績比12.6%増の19,800人 (月平均)	視聴者測定システムによる集計数（月平均） 14,797人	○
01 那覇市	1 22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	受入体制について満足であるか 95%	◎
01 那覇市	1 23	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街（マチグワー）に、案内所を設置する。	案内所利用者数：28,200人 (H29年度実績 27,238人)	案内所利用者数：20,260人	○
01 那覇市	1 24	沖縄国際映画祭関連事業	H25 ～ R3	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数：92,000人 (参考：H30年度：国際通りレッドカーペット63,000人/雷雨の悪天候のため)	沖縄国際映画祭国際通りレッドカーペット観客数：92,000人	◎
01 那覇市	1 25	観光イベント等映像発信事業	H25 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	来客数等 ・クルーズ船来客数：550,000人 (実績値) ・沖縄国際映画祭（国際通りレッドカーペット）観客数：92,000人 ・那覇ハーリー来場者：192,000人 ・那覇大綱挽まつり来場者：272,600人 ・琉球王朝祭り首里来場者：48,600人 ・読売巨人軍那覇キャンプ見学者：108,600人 (合計 1,263,800人)	・クルーズ船来客数：610,438人 ・沖縄国際映画祭（国際通りレッドカーペット）観客数：92,000人 ・那覇ハーリー来場者：202,000人 ・那覇大綱挽まつり来場者：270,000人 ・琉球王朝祭り首里来場者：中止 ・読売巨人軍那覇キャンプ見学者：85,321人	○
01 那覇市	1 26	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R1	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 月平均640件以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 月平均371件	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 27	観光協会ホームページ強化事業補助金	R1	安心安全に繋がる情報を提供することで良好な観光地のアピールを図るため、観光協会ホームページのリニューアルに対し支援を行う。	観光協会ホームページの強化構築	観光協会ホームページの強化構築	◎
01 那覇市	1 28	「なはでナイト」開発事業	R1	本市における観光客の活動時間の延長、市内消費機会の増加を図るため、夜型観光エンターテインメントの創出・発信に向けた事前調査業務を実施する。	「なはでナイト」調査報告書の作成	「なはでナイト」調査報告書の作成	◎
01 那覇市	2 1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持：5,748円以上 ・PRイベント来場者47,200人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：90人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持：4,333円 ・PRイベント来場者：35,000人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：176人 ・マグロが市魚であることを知っているか：50%	○
01 那覇市	2 2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 181名	漁業者数 226名	◎
01 那覇市	2 3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ～ R3	マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図るため、市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援する。	マグロ延縄漁船数 47隻	マグロ延縄漁船数 47隻	◎
01 那覇市	3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	販路開拓の前段となる商談会に出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る	商談成約率（商談成約件数/商談件数）が10%以上	商談成約率（商談成約件数/商談件数）：7.5%	○
01 那覇市	3 2	那覇の物産展事業	H24 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、「那覇の物産展」の開催等を行う。	物産展来場者数：74,000人	物産展来場者数：194,480人	◎
01 那覇市	3 3	民間資金調達促進マッチング事業	H30 ～ R3	中小企業の資金調達の支援を図るため、市内の企業及び起業家等の施策に対し、民間等の資金の投資を促す環境を整備する。	投資実行率：50%	投資実行率：0%	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	3 4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R3	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動等を実施する。	①誘致企業：3社 ②ビジネスマッチング参加企業：30社	①誘致企業：3社 ②ビジネスマッチング参加企業：30社	◎
01 那覇市	3 5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナーや企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を実施する。	セミナーや専門家派遣を、実施事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上とし、本事業のあり方について検証する。	○「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合 ・セミナー等参加事業者：96% ・専門家支援事業者：100%	◎
01 那覇市	3 6	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 139,000人	中心商店街の平日歩行者通行量：105,861人	○
01 那覇市	3 7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R3	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	支援を受けたことで企業経営に役立ったか：80%	◎
01 那覇市	3 8	企業立地促進事業	H28 ～ R3	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・新規常用雇用者数：22名 ・新規企業立地社（申請者）：4社	・新規常用雇用者数：21名 ・新規企業立地社（申請者）：3社	○
01 那覇市	3 9	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	相談窓口利用者2,000人 創業者6人以上 就職した人数の割合3.09%	・相談窓口利用者：1,068人 ・創業者：7人 ・就職した人数の割合：4.78%	○
01 那覇市	3 10	新商品開発支援事業	H29 ～ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	新商品開発完了	・新商品（またはサービス）開発数：40件 ・各事業者が設定した目標（販売額等）を達成した商品等の件数が開発した商品等の全件数に占める割合：70.9%	○
01 那覇市	4 2	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	クルーズ船の寄港回数 272回以上	クルーズ船の寄港回数 223回	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	5 1	活き活き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ R1	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	・建設工事の完了 ・建設工事監理業務の完了 ・備品整備の完了	・建設工事の完了 ・建設工事監理業務の完了 ・備品整備の完了	◎
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査の県との差 ①小学校算数（3年）：1.3ポイント ②中学校数学（2年）：3.3ポイント	○沖縄県学力到達度調査の県との差 ・小学校算数（3年）：2.5ポイント ・中学校数学（2年）：2.9ポイント	○
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・本事業について、児童へのアンケート調査を実施し、英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 ・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 62.5%以上（前年度の実績以上）	・英語に対する興味・関心が高まったか：79.5% ・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合：58.4%	○
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業（小・中学校）	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度（80%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度：91.7%	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業（認定こども園）	H24 ～ R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度（80%以上）を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度：95%	◎
01 那覇市	6 5	発達支援強化事業（乳幼児期）	H27 ～ R3	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」（80%以上）を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	市民（保護者）の満足度：100%	◎
01 那覇市	6 6	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか（80%以上）を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	指導方法等、授業の改善に役立ったか：91%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	6 7	不登校対策等支援事業	H24 ～ R3	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 31.5% 中学校 53.0%	○
01 那覇市	6 8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R3	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 31.5% 中学校 53.0%	○
01 那覇市	6 9	青少年旗頭事業	H24 ～ R3	伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：940人	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：926人	○
01 那覇市	6 10	街頭指導（がいとうPolaris）事業	H24 ～ R3	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.8%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.56%	◎
01 那覇市	6 11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答（80%以上）を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケート調査により、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答：99.3%	◎
01 那覇市	6 12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答（80%以上）を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケート調査により、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答：99.4%	◎
01 那覇市	6 13	自然体験学習事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したと評価する学校の割合（89.3%以上）を含め、学校からの報告により、当該事業のあり方について検証する。	児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したと評価する学校の割合：90.0%	◎
01 那覇市	6 14	学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 外壁等の剥離件数：0件 外壁の亀裂等件数：0件	・外壁等の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	7 1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能文化にふれる機会の確保を図るため、「地域文化芸能公演」を行う。	地域文化芸能公演への来場者 850人以上	地域文化芸能公演への来場者：450人	未
01 那覇市	7 2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R2	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、外構追加設計業務、施設本体の建設工事等を実施する。	・施設本体建設工事 2年目完了 ・建設工事業務委託（監理） 2年目完了 ・外構追加設計業務 完了	-	繰
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体（約390名）	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体	◎
01 那覇市	7 4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	伝統文化に触れ合う園児数：434人	伝統文化に触れ合う園児数：391人	○
01 那覇市	7 5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R3	伝統芸能の保存継承を図るため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	子どもフェスタ参加した児童生徒数：730人	子どもフェスタ参加した児童生徒数：744人	◎
01 那覇市	7 6	なは青年祭補助事業	H29 ～ R3	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	なは青年祭の出演団体、参加者数 20団体、280人	・なは青年祭の出演団体：21団体 ・参加者数：292人	◎
01 那覇市	8 1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保護者等へのアンケートにより、施設の改修等により保育環境の向上が図られたか：89%	◎
01 那覇市	8 2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートにより、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか：90.8%	◎
01 那覇市	8 3	ナハノホイク案内人（ナビィ）設置事業（コンシェルジュ設置）	H25 ～ R3	市内の保育施設への入園の支援を図るため、保育施設情報総合サイトによる情報発信等を行う。	待機児童数の減少割合 10%以上	待機児童数の減少割合 81%増	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	8 4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25～R3	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合80%以上	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合98%	◎
01 那覇市	8 5	ふれあいのまちづくり事業	H27～R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか：96%	◎
01 那覇市	8 6	ボランティア振興事業	H27～R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	・ボランティア登録者数（新規）77人 ・ボランティアのマッチング件数305件	・ボランティア登録者数（新規）：101人 ・ボランティアのマッチング件数：261件	○
01 那覇市	9 1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24～R3	那覇市と関連が深い国や地域等と結び懸け橋となる人材育成を図るため、研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか：100%	◎
01 那覇市	9 2	那覇長崎平和交流事業	H25～R3	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか：100%	◎
01 那覇市	10	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24～R3	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、地権者等との合意形成を図る。	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合（80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合：80%	◎
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24～R3	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数：6,500人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・応急手当講習受講者数：9,532人 ・救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うの割合：94%	◎
01 那覇市	12 1	地下壕対策事業	H24～R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	・地下壕対策工事（1箇所）の完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
01 那覇市	13 1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R3	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 参加者 5,000人以上 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	○健康ウォーキング大会 ・参加者 3,443人 ・参加者満足度 95.7% ○ウォーキング講座 ・講座終了後も継続して歩く割合： 96.5%	○
02 宜野湾市	1 1	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ R3	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	①カチャーシー大会演舞者数： 個人の部：41名、団体の部：25団体 ②はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数：160,000人	①カチャーシー大会演舞者数： 個人の部：32名、団体の部：19団体 ②はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数：145,000人	○
02 宜野湾市	1 2	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展 1本あたりの平均入館者数： 1,300人以上	企画展 1回あたりの平均入館者数：4,496人/回	◎
02 宜野湾市	1 3	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ R3	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	宜野湾市産業まつり来場者数 24,000人	○
02 宜野湾市	1 4	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するために、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置し、市民等が学べる機会を増やし、市の歴史・文化の継承を図る。	文化財標識・説明板設置件数：2件 地域文化財案内板：1件	-	繰
02 宜野湾市	1 5	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ R3	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナルティに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	①琉球海炎祭来場客総数：15,000人 ②①のうち県外客数：6,000人 ③①のうち海外客数：2,000人	①有料エリア総来場者数：19,518人 ②有料観覧エリア県外客数：5,923人 ③有料観覧エリア海外客数：4,562人	○
02 宜野湾市	1 6	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	宜野湾海浜公園の景観形成について、魅力的なプロ野球キャンプ地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	未実施	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	1 7	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ R3	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベント来場者数：7,000人	イベント来場者数：2,000人	未
02 宜野湾市	1 8	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	地域住民の健康増進、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保及び観光誘客を図るため、宜野湾海浜公園及びその周辺の整備を行う。	利用促進、誘客促進に向けた整備設計の完成	利用促進、誘客促進に向けた整備設計の完成	◎
02 宜野湾市	1 9	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	老若男女、少数から団体まで、利用者の利便性向上に向けた着実な実施（嘉数高台公園施設整備実施設計の完成）	老若男女、少数から団体まで、利用者の利便性向上に向けた着実な実施（嘉数高台公園施設整備実施設計の完成）	◎
02 宜野湾市	1 10	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30 ～ R2	スコアボード等の整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	2021春季キャンプの供用開始に向けた事業の着実な実施（バックネット改修設計及びスコアボード改修工事の完成）	バックネット改修実施設計、スコアボード改修工事の完了	◎
02 宜野湾市	1 11	博物館機能強化事業	H26 ～ R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	館内施設整備（空調設備改修設計）の完了	館内施設整備（空調設備改修設計）の完了	◎
02 宜野湾市	1 12	宜野湾市ハートポスト設置事業	R1	平成30年9月16日に引退した安室奈美恵さんの最後の引退ライブを行った市海浜公園が安室ファンの間で聖地となっていることから、「#ALLFOR916」より寄贈されたハートポストを活用した施策を展開し、本市西海岸エリアへの観光客の誘致を図る。	ハートポスト投函数 500通/月※6,000通/年	ハートポストへのハガキ投函数 18,970通/年	◎
02 宜野湾市	2 1	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校と連携しながら寄り添い支援等をおこない、関係機関につなぎ不登校や問題行動等の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	スクールソーシャルワーカーの支援を受けている児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 30%	不登校児童生徒学校復帰率 19.35%	未
02 宜野湾市	2 2	適応指導教室事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率：20%	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率：0%	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	2 3	児童生徒等相談事業	H24 ～ R3	教育上の課題を抱える青少年の相談支援のため臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、課題への早期対応、改善に取り組む。	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 19%	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 13%	未
02 宜野湾市	2 4	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R3	青少年の健全育成に寄与するため、街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し、関係機関や地域と連携し青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	街頭指導件数 622件以下	夜間街頭指導件数：495件	◎
02 宜野湾市	2 5	学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習の定着が遅れがちな児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	県到達度調査における県平均正答率との差 ・小学校（3年～6年） 国語：+4%以上（3年生、5年生のみ） 算数：+3%以上 ・中学校（1年～2年） 数学：0%以上	県到達度調査における県平均正答率との差 ・小学校（3年～6年） 国語：+3.0%（3年生、5年生のみ） 算数：+2.8% ・中学校（1年～2年） 数学：-1.8ポイント	未
02 宜野湾市	2 6	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート調査において、対象児童生徒の視野が広がったとの回答 100%	◎
02 宜野湾市	2 7	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人の県外派遣を支援する。	対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	アンケート調査において、対象児童生徒の視野が広がったとの回答 100%	◎
02 宜野湾市	2 8	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	様々な障がい児に対する課題を抱えている学校（園）教育において、障がい児一人一人の教育を保障し、個性や創造性を発揮して自立して生きていくことのできる力を育むことが重要であるため、宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、教育活動を支援する。	特別支援教育支援員（幼稚園：15人、小学校45人、中学校20人）支援員による声かけ及び支援により学習に向かう態度を身につけさせ、幼児児童生徒、学校、保護者が安心して学校生活を送ることができる。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度の割合：89%	◎
02 宜野湾市	3 1	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	大謝名メーカー保存整備工事：1件	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	3 2	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市（村）の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行う。	・平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	資料利用者へアンケートを実施、市の歴史や文化への理解が深まったかの割合：83%	◎
02 宜野湾市	4 1	平和民啓発事業	H24 ～ R3	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。沖縄戦から70年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	・平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを実施し、“平和に対する理解が深まった”割合を97%	◎
02 宜野湾市	4 2	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手（ALT）及び日本人英語教師（JTE）を小学校に派遣する。またALT及びJTE各校派遣にあたってコーディネーターを指導課に配置している。	①小学1年生～4年生：英語による質問4項目に対する平均正答率84%以上 ②小学5年生プラスコース総合平均正答率89%以上、6年生シルバークラス総合平均正答率84%以上	①小学1～4年 平均正答率87% ②小学5年生プラスコース総合平均正答率89.4%、6年生シルバークラス総合平均正答率83.8%	○
02 宜野湾市	4 3	外国人教師招致事業	H24 ～ R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語：+1ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校英語 0.8ポイント	未
02 宜野湾市	4 4	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICTを活用した視覚にうったえる分かりやすい授業の展開や児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ICT活用支援員を派遣し、ICT（教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など）を授業で活用できるよう支援を行う。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ② ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校70%以上、中学校80%以上	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合小学校91%、中学校72% ② ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校91%、中学校91%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	4 5	ICT機器活用推進事業	R1	児童の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校の普通教室、特別教室等に電子黒板、書画カメラ、教材等送受信装置等を整備する。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる率を80%以上を目標とする。 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合 小学校80%以上、中学校80%以上。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる率 91% ② ICT機器活用により、授業がわかったと答えた児童の割合 91%	◎
02 宜野湾市	4 6	中学校短期海外留学派遣事業	R1 ～ R3	本市教育目標「創造性・国際性に富む人材の育成」に向けて、市在住の中学生に海外での短期海外留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合 100%	◎
02 宜野湾市	5 1	市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄や簡易トイレの整備、自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。	・ 保存食の備蓄 R1年度備蓄食糧率93% (H30年度備蓄食糧率75%) ・ 保存水の備蓄 R1年度備蓄率19% (H30年度備蓄率19%) ・ 避難所簡易トイレの購入 ・ 自主防災組織への資機材整備 (H30年度整備：2団体)	保存食及び保存水の備蓄 ・ R1年度備蓄食糧 備蓄率 89% ・ R1年度保存水 備蓄率 5.9% ・ 避難所トイレの購入 0% ・ 自主防災組織への資機材整備完了（2団体）	△
02 宜野湾市	6 1	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	調査内容報告書の作成	調査内容報告書の作成	◎
02 宜野湾市	6 2	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同調査）	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	跡地利用計画（素案）に反映させる配置方針図の更新の検討	跡地利用計画（素案）に反映させる配置方針図の更新の検討	◎
02 宜野湾市	7 1	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等導入面積：47,000㎡	被覆資材等導入面積：60,066㎡	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	8 1	多様な働き方就労支援事業	H28 ～ R3	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名以上 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合50%	◎
02 宜野湾市	9 1	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ R3	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	支援対象者にうち自立につながった割合8割以上	支援対象者のうち自立につながった割合100%	◎
02 宜野湾市	10 1	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催し、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、小学生から高等教育機関在学学生を対象にした職業体験イベント等を実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	児童生徒へアンケートを実施し、就業意識の肯定的評価の割合 小学校94%、中学校95.8%	◎
02 宜野湾市	11 1	宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30 ～ R1	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図るにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事の完了	空調機工事の完了	◎
02 宜野湾市	12 1	市民会館機能強化事業	R1 ～ R3	建設から35年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 ②変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 ③市民会館発電機更新【設計】 ④市民会館発電機更新【工事】 ⑤3階トイレ改修【設計】 ⑥3階トイレ改修【工事】 ⑦バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	①変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 ②変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 ③市民会館発電機更新【設計】 ④市民会館発電機更新【工事】 ⑤3階トイレ改修【設計】 ⑥3階トイレ改修【工事】 ⑦バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	◎
02 宜野湾市	13 1	宜野湾市みどりの風景づくり推進事業	R1 ～ R3	自然環境の保全・再生、みどりに包まれた魅力的な都市環境の創出に向けて、官民一体となった緑地の保全や緑化の推進に関する方針を定めるための基礎調査を実施する。	基礎調査の完了	基礎調査の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	1 1	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光情報の発信及びプロモーションを行う。	○PRブース来場者数：1,150人以上 ○アンケートにおける来島希望者の割合100% ○映画撮影ロケ地誘致件数：1件 ○交流戦応援ツアー来島86名以上	○PRブース来場者数：600人 ○アンケートにおける来島希望者の割合99% ○映画撮影ロケ地誘致件数：2件 ○交流戦応援ツアー来島100名以上	○
03 石垣市	1 2	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿を誘致し、来場観客数の増を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	○プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体 ○プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数27,000人	○プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて7団体 ○プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数24,700人	○
03 石垣市	1 3	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、星空学びの部屋や南の島の星まつりなどを活用した星空資源広報業務を行う。また、クルーズ船寄航回数の増を図るため、クルーズ船受入事業を行う。	○クルーズ船寄港回数：112回以上 ○星空学びの部屋の来場者数：4,500人以上 ○島内の観光産業への就業に対する意欲が向上したか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 ○南の島の星まつりの来場者数：9,000人 ○とうまら一大会へ来場者数：3,000人	○クルーズ船寄港回数：148回 ○星空学びの部屋の来場者数：4,023人 ○島内の観光産業への就業に対する意欲が向上したか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証する。：60% ○南の島の星まつりの来場者数：9,000人 ○とうまら一大会へ来場者数：3,000人	○
03 石垣市	1 4	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ R3	空港利用者の利便性の確保を図るため、空港ターミナル内において、観光案内所を運営する。	利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証：75%	○
03 石垣市	1 5	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	石垣市内にある重要文化財等を保全し、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備し、石垣市の魅力を発信する。	○文化財案内板設置の完了 ○減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	○文化財案内板設置の完了 ○減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	◎
03 石垣市	1 6	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、それらを常設展示や企画展での展示・公開、HPや出版物等への掲載等に活用する。	新聞資料2点、絵画資料10点の修復及びデジタル化を行う。	新聞資料2点、絵画資料10点の修復及びデジタル化を行う。：12件	◎
03 石垣市	1 8	大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ～ R1	市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。	駐車場、芝生広場の整備の完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	2 1	旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R2	旧石垣空港跡地の有効利用に向けた土地区画整理事業の都市計画決定、事業認可、事業実施を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。	環境影響予測評価及び準備書手続の完了	－	繰
03 石垣市	2 2	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ R2	クルーズ船で寄港する観光客の利便性確保を図るため、新港地区クルーズ船専用護岸に屋根付き歩道を整備する。また、外国船受け入れに必要な埠頭保安規程の改定及び保安設備（照明、監視カメラ、フェンス、ゲート等）の整備を行う。	○屋根付き歩道の整備の一部完了 ○埠頭保安規程の改定完了 ○保安設備の整備の一部完了	－	繰
03 石垣市	2 3	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ R3	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。	あんぐん公園工事の完了	－	繰
03 石垣市	2 4	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ R1	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、平久保半島エコロードの整備に必要な道路整備工事を行う。	道路整備工事の完了	道路整備工事の完了	◎
03 石垣市	2 5	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	市民や観光客等の利便性を確保するため、観光施設の整備、改修を行う。	○玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の完了 ○平久保灯台駐車場の実施設計の完了	－	繰
03 石垣市	3 1	社会復帰支援実証事業	H27 ～ R1	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者に対し、一般企業での常用就職を目的として、就労の機会を提供し職業訓練を行うと同時に、就職活動の支援を行う。	支援対象者の71%以上が就職	支援対象者の25%が就職	未
03 石垣市	3 2	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の増加を図るため、保育所等が実施する取り組みについて支援等を行う。	本事業により増加した保育士による受入可能園児数：216人増	本事業により増加した保育士による受入可能園児数：98人増	未
03 石垣市	3 3	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の自立を図るため、自立へ向けた具体的な目標及び意欲があるひとり親家庭に対し、家賃補助等の住宅支援や、生活及び就労支援を行う。	支援開始1年後の自立した世帯数：4世帯以上	支援開始1年後の自立した世帯数：4世帯	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	3 4	商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業	H24 ～ R3	本市の中心市街地及び商工施策基盤づくりを目的に、公設市場の機能強化等を実施する。	○観光客等からの衛生面での苦情件数0件 ○商工業分野の事業者に対し、人手不足現況調査報告書が今後の人手不足解消に役立つと感じたか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	○観光客等からの衛生面での苦情件数：0件 ○商工業分野の事業者に対し、人手不足現況調査報告書が今後の人手不足解消に役立つと感じたか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証：未実施	△
03 石垣市	3 5	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	ものづくり分野の販路開拓や経済振興を図るため、石垣空港から海外輸出の促進に取り組む。また、特産品の島内外でのPRや話題創出、プレゼンテーションの実施、伝統工芸、手仕事における人材育成および原材料確保の取り組みを実施する。	○保税蔵置場を利用した輸出货量：2.5トン以上 ○県内外でのPR催事時の平均来場客数2,500人以上 ○八重山上布の研修終了者：15人以上 ○石垣島粘土の使用窯業者数：15事業者以上	○保税蔵置場を利用した輸出货量：1.6トン ○県内外でのPR催事時の平均来場客数2,500人 ○八重山上布の研修終了者：15人以上 ○石垣島粘土の使用窯業者数：31事業者以上	○
03 石垣市	3 6	石垣市就業支援事業	H30 ～ R3	本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。	○「わくわくワーク仕事体験会」来場者数：850名 ○島内の就業に対する意欲が向上したか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	○「わくわくワーク仕事体験会」来場者数：895名 ○島内の就業に対する意欲が向上したか（80%以上）を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証：80%	◎
03 石垣市	4 1	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R3	石垣の牛の出荷頭数の増加、伝染病等の防止及び、肉用牛の販売額の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用支援や靴底消毒及び、石垣牛の宣伝などを一体的に推進する。	○伝染病等にかかった頭数：0頭 ○平均出荷頭数：553頭/月 ○石垣牛平均販売額：1,440千円以上	○伝染病等にかかった頭数：0頭 ○平均出荷頭数：576頭/月 ○石垣牛平均販売額：1,190千円	○
03 石垣市	4 2	農水産物プロモーション事業	H27 ～ R1	石垣島産農水産物の認知度向上のため、石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設（アンテナショップ）の運営を行う。	情報発信拠点施設への来場者数：3,000人	情報発信拠点施設への来場者数：1,934人	未
03 石垣市	4 3	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市は離島県の離島であるため、島外への出荷は空路に限定される。しかし、空路は輸送費を多大に要し、漁家経営を圧迫する要因の一つとなっているため、沖縄本島までの空路輸送費を陸路輸送費並みにすることで、地理的不利性を解消し、島外への出荷量を増加させる。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：120トン	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：125トン	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	4 4	水産振興事業	H24 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	沖縄ミーバイ種苗輸送数：64,000尾	沖縄ミーバイ種苗輸送数：56,000尾	○
03 石垣市	4 5	石垣島産マグロ類販売力強化事業	H30 ～ R2	市民や観光客に島産マグロを広く知ってもらい、島内漁業の振興を図るため、試食会の開催など地域向けの販売促進活動や、インターネットを活用した情報発信ができる環境を整える。	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	◎
03 石垣市	5 1	防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	防災行政無線設備デジタル化移行工事の完了（17基）	-	繰
03 石垣市	5 2	明石地区避難道路整備事業	R1	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、予想される大地震時における津波避難道路を整備する。	測量設計業務及び道路整備工事の完了	測量設計業務及び道路整備工事の完了	◎
03 石垣市	5 3	消防救助資器材等整備事業	H30 ～ R1	災害時、陸路からの進入・救助が困難な場合に、上空からの的確な監視等により、迅速かつ効率的な救助支援活動を行うため、ドローンを導入する。	災害支援用ドローン整備数：2機	災害支援用ドローン整備数：2機	◎
03 石垣市	6 1	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合98%	◎
03 石垣市	6 2	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	○平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する ○平和フォーラム等への参加者700名	○平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する：90% ○平和フォーラム等への参加者：700名	◎
03 石垣市	6 3	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子の早期発見・早期支援に取り組むため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、臨床心理士による発達相談等を実施する。	乳幼児健診（1歳6か月児・3歳児）において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、保護者が発達相談を受ける割合80%以上	乳幼児健診（1歳6か月児・3歳児）において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、保護者が発達相談を受ける割合99%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	6 4	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ R3	発達支援を必要とする乳幼児や心身の発達に配慮が必要な児童生徒を抱える者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証：98%	◎
03 石垣市	6 5	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	○沖縄県到達度調査の全体平均正答率：小学校60%以上、中学校50%以上 ○英語に興味・関心を持ったと回答した児童生徒の割合：80%以上	○沖縄県到達度調査の全体平均正答率：小学校58%、中学校49.1%以上 ○英語に興味・関心を持ったと回答した児童生徒の割合：81%	○
03 石垣市	6 6	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか（80%以上）を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか（80%以上）を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証：88.5%	◎
03 石垣市	6 7	専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	○小学校教員採用試験合格者数：10人以上 ○中学校教員採用試験合格者数：5人以上	○小学校教員採用試験合格者数：8人 ○中学校教員採用試験合格者数：7人	○
03 石垣市	6 8	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R3	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	○国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ○市内の生徒が、報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	○国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する：100% ○市内の生徒が、報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する：100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
03 石垣市	6 9	スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	① (講演会・スポーツ教室) トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数：年間800名以上  (指導者講習会) 指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか（80%以上）を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。  ②スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	① (講演会・スポーツ教室) トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数：年間600名  (指導者講習会) 指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか（80%以上）を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する：88%  ②スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する：100%	○
03 石垣市	6 10	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R3	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮児童生徒との相互交流や、岩手県北上市の生徒受入交流を行う。	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証：100%	◎
03 石垣市	6 11	不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置し、不登校の児童生徒に対応した支援を行う。また、教室に入ることの出来ない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないよう居場所づくり等、学校と協力し必要な支援を行う。	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率：小学校1.31%以下、中学校7.03%以下	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率：小学校1.69%、中学校4.34%	△
03 石垣市	6 12	子ども若者総合相談支援事業	R1 ～ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の自立に向け、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応を行うほか、関係機関で構成する「石垣市子ども・若者支援地域協議会」の円滑な運営及び支援機関の連携を図り、包括的、継続的な相談並びに支援等を実施する。	○相談件数に占めるリファラー（適切な機関につなげた）割合 76%以上 ○児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労 8名以上	○相談件数に占めるリファラー（適切な機関につなげた）割合 10% ○児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労 15名	△
03 石垣市	7 2	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	仮設ターミナル建設の完了	遂行困難	-

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
04 浦添市	1 ①	浦添市来々々推進事業	H24～R3	住民の生活環境の向上及び新たな観光スポット等の創出を図るため、地区ごとのまちづくり整備計画を策定する。	屋富祖・オリオン通り周辺地区における「まちづくり基本計画の実現に向けた施策（案）」の完成	屋富祖・オリオン通り周辺地区における「まちづくり基本計画の実現に向けた施策（案）」の完成	◎
04 浦添市	1 ②	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24～R3	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	てだこウォーク参加者数 ①市外からの参加者：3,300人以上 ②市内からの参加者：4,400人以上	てだこウォーク参加者数 ①市外からの参加者：2,801人 ②市内からの参加者：4,000人	○
04 浦添市	1 ③	ありんくりんクリーン事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、文化財の環境整備（清掃や除草等）を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答96%	◎
04 浦添市	1 ④	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。また、各施設で配布する文化財案内ガイドブックを作成する。	・ガイダンス施設入館者数：15,300名以上/年	・ガイダンス施設入館者数：18,117名/年	◎
04 浦添市	2 ①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～R3	観光地としての魅力向上及び地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組を行う。	①風景づくり推進調査業務の完了 ②補助対象工事15件 内訳 赤瓦葺き工事5件 石積み、石張り等の工事5件 生垣等の工事5件 ③地域の歴史や文化に対する興味がわいたか（80%以上）を含め、参加者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①風景づくり推進調査業務の完了 ②補助対象工事17件 内訳 赤瓦葺き工事7件 石積み、石張り等の工事4件 生垣等の工事6件 ③地域の歴史や文化に対する興味がわいたかについて肯定的な回答88%	○
04 浦添市	2 ②	地域資源復元推進事業	H24～R3	文化の継承及び観光誘客を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。平成31年度は仲間火又神修復のための実施設計を行う。	「仲間火又神」実施設計の完了	「仲間火又神」実施設計の完了	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
04 浦添市	2 ③	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装事業	H24 ～ R1	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の道路に、沖縄らしい風景づくりとしてコーラル舗装をイメージした乳白色のカラーアスファルト舗装を施し、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成を図る。	カラーアスファルト舗装済みの累計面積： 7,246㎡整備100.0%	カラーアスファルト舗装済みの累計面積： 7,246㎡整備100.0%	◎
04 浦添市	3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	文化の継承及び観光誘客を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する浦添市美術館において、常設展の充実、企画展の開催等を実施する。	常設展観覧者数：3,900人以上/年	常設展観覧者数：6,297人/年	◎
04 浦添市	4 ①	島桑オジー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。	・桑関連商品販売額：24,383千円以上/年	・桑関連商品販売額：24,659千円/年	◎
04 浦添市	4 ③	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ R2	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。 令和元年度は、施設部分のPPP事業に係る募集要項等策定及び広場部分の実施設設計並びに用地取得を行う。	・PPP事業に係る募集要項等 ・広場部分の実施設設計の完了 ・用地取得完了	-	繰
04 浦添市	4 ④	浦添観光振興事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源や観光情報の発信・周知を行う。	・ポータルサイト訪問者数743,000人以上 ・プロ野球春季キャンプファン誘客34,000人以上 ・教育旅行誘致件数5件以上 ・MICE誘致問い合わせ件数5件以上	・ポータルサイト訪問者数562,158人 ・プロ野球春季キャンプファン誘客36,448人 ・教育旅行誘致件数15件 ・MICE誘致問い合わせ件数7件	○
04 浦添市	5 ①	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R2	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、市内の避難所に備蓄食糧及び災害用備品等を配備する。	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了	◎
04 浦添市	6 ②	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	クルーズ船の寄港回数 272回以上/年	クルーズ船の寄港回数 223回	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
04 浦添市	7 ①	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R3	児童生徒がスポーツ・文化活動において、県外の児童生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会等に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったかについて肯定的な回答97%	◎
04 浦添市	7 ②	スポーツ振興事業	R1	室内球技のスポーツ大会、スポーツ合宿の誘致を図るため、体育施設へ高機能床材を導入する。	高機能床材の導入完了	高機能床材の導入完了	◎
04 浦添市	8 ①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習を行う。	宿泊体験学習によって児童にプラスの変化があったかを児童自身及び保護者を対象としたアンケート等で検証する。  ①事業のねらいに沿った5つの質問項目（児童対象）における事業実施後（事業実施後1ヶ月以内）調査において、肯定的な回答児童（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。  ②自然体験活動を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したか（80%以上）を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①事業のねらいに沿った5つの質問項目（児童対象）における事業実施後（事業実施後1ヶ月以内）調査において、肯定的な回答児童80.6%  ②自然体験活動を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したか肯定的な回答76.6%	○
04 浦添市	8 ②	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校：算数 ±0ポイント以上 ・中学校：数学 +0.4ポイント以上	・小学校：算数 -1.88ポイント ・中学校：数学 1.05ポイント	△
04 浦添市	8 ③	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、各種支援員等を配置し、情緒不安やあそび非行傾向等の課題を抱える児童生徒等の支援を行う。	不登校児童生徒登校復帰率  小学生29.2%以上 中学生52.0%以上	不登校児童生徒登校復帰率  小学生33.3% 中学生52.8%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
04 浦添市	8 ④	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習指導や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 95.2%以上	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 100%	◎
04 浦添市	8 ⑤	ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ R3	教員のICT機器活用に係る習熟度向上及び学校教育の質の確保を図るため、IT指導員を学校に派遣し、教育用ICT機器を活用した授業の実施を支援する。	①16小中学校の教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）」と答えた割合：90%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②16小中学校の児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合：80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①16小中学校の教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）」と答えた割合：76.5% ②16小中学校の児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合：88%	○
04 浦添市	8 ⑥	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	①ICT機器を整備した11校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②ICT機器を整備した11校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①ICT機器を整備した11校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合76.5% ②ICT機器を整備した11校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合88%	○
04 浦添市	9 ①	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R3	戦前戦後を通して浦添出身者が移住した南米の各国と本市を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、南米へ移住した浦添出身者の子弟を招聘し、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについて肯定的な回答97%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
04 浦添市	10 ①	浦添市学童つ子応援プロジェクト事業	H24 ～ R3	児童の放課後の居場所を確保し、保護者の子育てへの負担感の軽減を図るため、民間施設を使用している放課後児童クラブへ家賃補助を行い運営を支援する。	・放課後児童クラブの運営者に対して、家賃補助によって安定的な運営に繋がっているか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。  ・放課後児童クラブを利用する保護者に対して、安心・安全に放課後児童クラブを利用でき、子育てへの負担感が軽減されたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・放課後児童クラブの運営者に対して、家賃補助によって安定的な運営に繋がっているかについて肯定的な回答100%  ・放課後児童クラブを利用する保護者に対して、安心・安全に放課後児童クラブを利用でき、子育てへの負担感が軽減されたかについて肯定的な回答100%	◎
04 浦添市	11 ①	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R3	沖縄戦に関する歴史を語り継ぎ、未来につなげるための人材を育成するため、市内の中学生を対象とした研修・交流事業を行う。また、研修終了後に市民に向けた活動報告を行い、市民へ平和の啓蒙を行う。	参加生徒の保護者に対してアンケート調査を実施し、生徒が本事業に参加することで平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒の保護者に対してアンケート調査を実施し、生徒が本事業に参加することで平和に対する理解が深まったかについて肯定的な回答93.7%	◎
04 浦添市	11 ②	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	登記済延長率：79% (R1実施分：10%)	登記済延長率：79% (R1実施分：10%)	◎
04 浦添市	11 ③	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の活動を支援し、地主会若手組織の活動体制づくり並びに地主相互及び地主と行政の連携を強化する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったかについて肯定的な回答88%	◎
04 浦添市	11 ④	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ R2	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	特定事業の用に供する土地取得目標 37,000㎡（達成率90%）  ※達成率：先行取得目標面積（152,000㎡）に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得 27,773㎡	○
04 浦添市	12 ①	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者（自治会）に対して補助金を交付する。	R1年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年60,000kg-CO2の削減  (H29年度からの累計削減量：260,000kg-CO2/年（H28年度比）)	R1年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年70,213kg-CO2の削減	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
05 名護市	1 ①	学習指導支援者配置事業	H24～R3	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行う。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学3年生 算数：3.8%以下 ②中学2年生 数学：4.1%以下	①小学3年生 算数：7.0% ②中学2年生 数学：2.1%	△
05 名護市	1 ②	生徒指導支援者配置事業	H24～R3	不登校の改善を図るため、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う生徒指導支援者を配置する。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 22%以上	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 23%	◎
05 名護市	1 ③	小中学校英語支援員配置事業	H24～R3	児童生徒の学力（英語）の向上を図るため、小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における補助指導員として、小中学校へ英語支援員を配置する。	①小学校英語学力調査 5年生：正答率78%以上 6年生：正答率75%以上 ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語：-5.8ポイント以下	①小学校英語学力調査 5年生：正答率79.2% 6年生：正答率81.1% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語：-4.9ポイント	◎
05 名護市	1 ④	中学生海外短期留学派遣事業	H24～R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、市立中学の生徒をハワイ州ハワイ郡ヒロへ短期間派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（100%）を含め本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合：100%	◎
05 名護市	1 ⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24～R3	適応指導教室に通級している児童生徒の学校復帰を支援するため、適応指導教室へ支援員を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の割合：28% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校できた児童生徒の割合：76%	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の割合：0% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校できた児童生徒の割合：94%	△
05 名護市	1 ⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が県内では出来ない経験をする事ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が県内では出来ない経験をする事ができたと回答した割合：100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
05 名護市	1 ⑦	小中一貫教育推進事業	H26 ～ R3	名護市立小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、教育課程研究に基づく特色ある取り組みの実践による学力向上を図るため、非常勤講師を配置する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学5年生 算数：県平均以上 ②中学2年生 数学：+5ポイント	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学5年生 算数：-3.4ポイント ②中学2年生 数学：+8ポイント	△
05 名護市	2 ①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。	①プロ野球キャンプ時における見学者数 R1年度：21,000人以上 ②名護市観光統計入込客数 R1年度目標：6,516,708人以上	①プロ野球キャンプ時における見学者数 R1年度：28,950人 ②名護市観光統計入込客数 R1年度目標：6,462,994人 ※暦年	○
05 名護市	2 ②	まちなか多言語案内サイン整備事業	H29 ～ R2	外国人観光客の利便性を確保するため、市内の観光スポットを記した外国人観光客向けの多言語案内板・誘導板を設置する。	多言語案内板等により外国人観光客の利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証。	多言語案内板等により外国人観光客の利便性が確保されたと回答した割合：97%	◎
05 名護市	2 ③	第2次名護市観光振興計画策定事業	H30 ～ R1	観光誘客を図るため、第2次観光振興計画を策定する。	・第2次観光振興基本計画の策定完了 ・評価検証が行える体制の構築完了	・第2次観光振興基本計画の策定完了 ・評価検証が行える体制の構築未完了	△
05 名護市	2 ④	名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ R1	市内事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、市内事業者の商品開発や流通に必要な知識・技術の習得のための支援を行う。	①ワークショップ研修参加者へのアンケートで、ワークショップの内容について理解できたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②商談成約件数：2件	①ワークショップ研修参加者へのアンケートで、ワークショップの内容について理解できたと回答した割合：78.4% ②商談成約件数：7件	○
05 名護市	2 ⑤	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30 ～ R2	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点（無線LANアクセスポイント）を整備する。	・Wi-Fi整備（中心市街地エリア）完了 ・効果測定完了	・Wi-Fi整備（中心市街地エリア）完了 ・効果測定完了	◎
05 名護市	2 ⑥	名護市産業支援センター機能強化事業	H30 ～ R1	雇用の創出を図るため、名護市産業支援センター（5階フロア）にオフィス、会議室、トイレ等を整備する。	機能強化工事の完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
05 名護市	2 ⑦	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R3	市内中小企業の販路拡大や売上増加を図るため、県内外で開催される物産展や商談会への出展支援等を行う。	①商談成約件数：1件 ②物産展での売上額：975,000円以上 ③支援（アドバイス等）を受けた事業者へのアンケートで、今後の商談で役立つと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	①商談成約件数：3件 ②物産展での売上額：712,715円 ③支援（アドバイス等）を受けた事業者へのアンケートで、今後の商談で役立つと感じた割合：100%	○
05 名護市	2 ⑧	自転車まちづくり普及事業	R1 ～ R2	健康増進や環境にやさしい交通手段として自転車を市民等に広く普及させ自転車愛好家等を増やすため、サイクルツーリズムを推進する。	イベント参加者数：72名	イベント参加者数：49名	未
05 名護市	2 ⑨	名護市インバウンド受入強化支援事業	R1 ～ R3	インバウンド観光客の増加を図るため、市内事業者を対象とした海外商業習慣等の知識獲得に向けたセミナーを開催する等、受け入れ体制の強化を行う。	本事業の取組に参加した事業者に対して、インバウンド対策に役立つと感じたかどうか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	本事業の取組に参加した事業者に対して、インバウンド対策に役立つと感じたと回答した割合：83.5%	◎
05 名護市	2 ⑩	21世紀の森公園機能強化事業	R1	キャンプの誘致及び市民の健康増進を図るため、また、観光客の利便性（満足度）を確保するため、新名護市営球場において、トレーニング器具整備等や、満足度向上に向けた各種整備を行う。	①トレーニング器具等の整備 ②レリーフ等の整備完了	①トレーニング器具等の整備完了 ②レリーフ等の整備完了	◎
05 名護市	2 ⑪	21世紀の森体育館機能強化事業	R1	21世紀の森体育館の機能強化を図るため、バスケットリングの整備、フロア床事故防止対策及び照明LED化を実施する。	21世紀の森体育館の機能強化整備完了	-	繰
05 名護市	2 ⑫	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	屋我地地域における修学旅行等の誘致件数の増加を図るため、観光地周辺及び観光体験施設の整備を行う。	・土地測量業務完了（塩づくり体験施設） ・不動産鑑定完了（塩づくり体験施設） ・用地購入完了（塩づくり体験施設） ・物件補償完了（オランダ墓）	・土地測量業務完了（塩づくり体験施設） ・不動産鑑定完了（塩づくり体験施設） ・用地購入未完了（塩づくり体験施設） ・物件補償未完了（オランダ墓）	△
05 名護市	3 ①	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数：2件	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数：3件	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
05 名護市	4 ①	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 120%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	未
05 名護市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R3	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置。100%を目指す。	①救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急手当が理解できたか80%以上を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②まちかど救急ステーション認定事業所：5件以上 ③整備したコンビニにおいて、救急救命（AED）講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	①救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急手当が理解できたと回答した割合98% ②まちかど救急ステーション認定事業所：3件 ③整備したコンビニにおいて、救急救命（AED）講習を実施する中でアンケート：未実施	△
05 名護市	5 ②	ハブ対策事業	H27 ～ R3	地域住民や観光客の咬傷被害防止を図るため、地域住民の生活圏や観光地にハブ捕獲器を設置し定期巡回を行う。	捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数：0件	捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数：0件	◎
05 名護市	5 ③	環境再生・活用整備事業	H29 ～ R3	地域の自然を生かした教育の場・憩いの場としての活用を図るため、喜知留川の整備を行う。	・喜知留川橋梁実施設計の完了 ・喜知留川用地測量業務及び用地取得の完了 ・喜知留川物件補償調査業務及び物件補償の完了	・喜知留川橋梁実施設計完了 ・喜知留川用地測量業務及び用地取得完了 ・喜知留川物件補償調査業務完了、物件補償未完了	○
05 名護市	6 ①	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ R3	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン（自転車指導レーン）整備を実施する。	令和元年度自転車指導レーン整備延長：2,440mの整備完了 ・宇座線：630m ・城通り線：1,060m ・大西線：750m	令和元年度自転車指導レーン整備延長：1,990mの整備完了 ・宇座線：630m ・城通り線：1,060m ・大西線：300m	○



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
05 名護市	7 ①	名護湾沿岸基本構想策定事業	H30 ～ R1	名護湾沿岸地域の観光・産業振興を図るため、名護湾沿岸基本構想を策定する。 今年度は、前提条件の整理、関係者意向調査、事例調査を実施し、事業スケジュール、まちづくり全体構想図及びロードマップを作成する。	名護湾沿岸基本構想の策定	名護湾沿岸基本構想策定	◎
05 名護市	8 ①	名護市工場適地等構想地調査事業	R1	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想地の調査を行う。	新たな工場適地指定に向けた調査報告書の策定完了（＝方向性の決定）	新たな工場適地指定に向けた調査報告書の策定完了（＝方向性の決定）	◎
05 名護市	9 ①	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者（指導者）に対して、指導力が向上したと感じたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケート：未実施 ②講習会を受講した参加者（指導者）に対して、指導力が向上したと感じた割合 96.5%	△
05 名護市	10 ①	幼保連携型総合施設整備事業	R1 ～ R2	働く保護者等の育児負担の軽減及び子育て家庭の孤立化を抑制し育児不安を軽減するため、一部辺地に指定されている二見以北地域において、市立幼稚園1園、保育園1園を統合し、幼保連携型認定こども園を整備する。	・幼保連携型総合施設に係る実施設計業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の土質調査業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の造成外構測量設計業務の完了	・幼保連携型総合施設に係る実施設計業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の土質調査業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の造成外構測量設計業務の完了（実施設計に含めて実施）	◎
05 名護市	11 ①	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1 ～ R2	二見以北地域の住民及び観光客の公共交通に係る利便性を確保するため、持続可能で安定した公共交通の導入に向けたデマンド型の乗合タクシー及びコミュニティバスの実証実験を行う。	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	◎
05 名護市	12 ①	わんさか大浦パーク機能強化整備事業	R1 ～ R3	二見以北地域唯一の観光拠点「わんさか大浦パーク」に、来場者が学習できる機能や名護・やんばる東海岸地域の情報発信機能等を新たに整備する。 R1年度は機能強化に向けた基本計画を策定する。	・わんさか大浦パーク機能強化基本計画の策定完了	・わんさか大浦パーク機能強化基本計画の策定完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
06 糸満市	1 ①	生活感幸（観光）環境づくり事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。また、地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催し、受講者による魅力の把握・再発信を促す。	・市ホームページ上での歴史民俗地図へのアクセス数1,250件以上 ・市史講座受講者アンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	・市ホームページ上での歴史民俗地図へのアクセス数：1,938件 ・市史講座受講者アンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合：95%	◎
06 糸満市	1 ②	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R2	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設整備工事（2工区）完了 ・助成金による景観形成整備の完了（3件）	-	繰
06 糸満市	2 ①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・市内における年間ハブ咬傷被害2件以内	・市内における年間ハブ咬傷被害：0件	◎
06 糸満市	3 ①	糸満イベント推進事業	H24 ～ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭り来場者数47,000人	・糸満ふるさと祭り来場者数：34,548人	○
06 糸満市	3 ②	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・（仮称）糸満市文化・平和・観光振興センター工事1年目の完了	-	繰
06 糸満市	4 ①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不適應の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数-3% 中学校数学-2%	県学力到達度調査の県との差 小学校算数：-2.7% 中学校数学：-4.4%	△
06 糸満市	4 ②	英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-3%	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証：82.5% ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語：-6.7%	△
06 糸満市	4 ③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率：52.6%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
06 糸満市	4 ④	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、認定こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証：96%	◎
06 糸満市	4 ⑤	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか（80%以上）を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証：90.5% ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか（80%以上）を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証：94.3%	◎
06 糸満市	5 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件	・合宿誘致件数8件	未
06 糸満市	6 ①	母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	◎
07 沖縄市	1 ①	kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・撮影件数：111件	・撮影件数：42件	未
07 沖縄市	1 ②	音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・観光客来館者数：3,500人	・観光客来館者数：5,335人	◎
07 沖縄市	1 ③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	おきなわ音楽月間イベント来場者数：64,000人	おきなわ音楽月間イベント来場者数：58,754人	○
07 沖縄市	1 ④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の継承及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活用拠点施設の舞台機構、舞台照明等、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびな一舞台照明設備機器改修設計の完了	・沖縄市民小劇場あしびな一舞台照明設備機器改修設計の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
07 沖縄市	1 ⑤	国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍相談窓口を開設し、ショートステイをしている外国人観光客等の生活上等の困難の改善を図る。 また、市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	①来所者数8,709人 ②生活上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①来所者数8,218人 ②生活上の困難の改善が図られたか98%	○
07 沖縄市	1 ⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサーイベント来場者数 403,403人 ・エイサー会館来場者数 28,584人	・エイサーイベント来場者数 403,769人 ・エイサー会館来場者数 26,772人	○
07 沖縄市	1 ⑦	観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	・主要ホテル宿泊延べ人数：357,757人	・主要ホテル宿泊延べ人数：281,473人	○
07 沖縄市	1 ⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊やエイサーなどの伝統芸能等のイベントを開催し、市民等に伝統芸能に触れる機会を確保する。	・おきなわ芸能フェスティバル来場者数：16,681人	・おきなわ芸能フェスティバル来場者数：8,429人	未
07 沖縄市	1 ⑨	観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	観光入込統計調査の完了	観光入込統計調査の完了	◎
07 沖縄市	2 ①	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。	・スポーツ合宿延べ宿泊者数：24,532人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 158,421人	・スポーツ合宿延べ宿泊者数：26,986人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 194,163人	◎
07 沖縄市	2 ②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R1	モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るため、沖縄市コザ運動公園を会場としたイベントを開催し、モータースポーツの聖地化に向けた機運を醸成する。	・イベント来場者数：39,240人	・イベント来場者数：42,000人	◎
07 沖縄市	3 ①	道路景観形成推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・実施設計完了	・実施設計完了	◎
07 沖縄市	3 ②	緑化景観推進事業	H30 ～ R3	観光地周辺道路を亜熱帯植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか 80.1%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
07 沖縄市	4 ①	こども科学育成事業	H24 ～ R3	科学イベント等を開催し、こどもたちの科学への興味関心を高める。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか（参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上）	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか 満足度97%	◎
07 沖縄市	4 ②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習支援を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差  小学校：県平均正答率以上 中学校：県との差-2ポイント以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差  小学校：県との差+0.2ポイント以上 中学校：県との差-2.2ポイント以上	△
07 沖縄市	4 ③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	・保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度80%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 16%以上	・保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度75.8% ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度98% ・不登校児童生徒登校復帰率 30%	○
07 沖縄市	4 ④	青少年等支援事業	H25 ～ R3	巡回指導、相談、支援等を行い、青少年等の健全育成を図る。	・午前・午後巡回指導件数 前年度比27.2%減 ・夜間・合同街頭指導件数 前年度比9.8%減 ・若者の主訴改善件数 25%増	・午前・午後巡回指導件数 前年度比48.6%減 ・夜間・合同街頭指導件数 前年度比29%減 ・若者の主訴改善件数 88%増	◎
07 沖縄市	4 ⑤	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。	・保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合80%以上	・保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合100%	◎
07 沖縄市	5 ①	就労等支援事業	H24 ～ R3	職業人講話やマナー講座等を通じて、小中高校生の就業意識の向上を図るとともに、就労相談や就労支援講座等を実施し、求職者の職業理解を深め、また、就職決定に繋げる。	・参加児童へのアンケートで働くことへの興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・就職決定者割合46.8% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・参加児童へのアンケートで働くことへの興味・関心が高まったか 96.0% ・就職決定者割合51.7% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか 95.7%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
07 沖縄市	6 ①	地域防災対策事業	H24 ～ R3	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織を結成した団体の災害用備蓄の確保を行う。また、防災倉庫を整備する。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施し、整備した資機材が観光客や住民の安全確保に資するか（80%以上）を含め、訓練参加者に対するアンケートで、本事業のあり方について検証する。  ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施し、整備した資機材が観光客や住民の安全確保に資するか100%	◎
07 沖縄市	6 ②	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ R2	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・与儀地区1路線180mの整備工事の完了	・与儀地区1路線180mの整備工事の完了	◎
07 沖縄市	7 ①	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	里道・水路の占用許可・用途廃止等を行うにあたり、（仮）沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道及び水路の位置を確定する。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	確定測量の完了 表示登記申請の完了	◎
07 沖縄市	8 ①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R3	東部海浜開発事業の認知度向上に向けてイベント等を活用したPR業務を行う。また、企業誘致の促進を図るため、長期滞在型観光地形成に向けた動向など、誘致に向けた手法等について調査・整理を行い、効果的な企業誘致を行う。本事業区域に進出希望の企業についてヒアリングを行う。	・県外企業誘致ヒヤリングの実施6回（30社） ・長期滞在型観光地形成調査及び企業誘致PR動画制作 ・来場者等へのアンケートによる認知度（55%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	・県外企業誘致ヒヤリングの実施8回（35社） ・長期滞在型観光地形成調査及び企業誘致PR動画制作 2件 ・来場者等へのアンケートによる認知度52.4%	○
07 沖縄市	9 ①	平和推進事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	・沖縄戦への理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・沖縄戦への理解が深まったか 94%	◎
07 沖縄市	10 ①	郷土資料整備事業	H27 ～ R3	郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化を学べる環境を整備し、沖縄の歴史文化に係る理解を深める。	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったか 92.50%	◎
07 沖縄市	11 ①	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、マーケティング業務及びデジタルサイネージコンテンツ制作等実施を行う。	・マーケティング実施支援業務の完了 ・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・目標入園者数60万人	・マーケティング実施支援業務の完了 ・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・目標入園者数53万人	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
07 沖縄市	12 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設の整備を行う。	クマ舎周辺エリア整備工事（第1期）の完了 目標入園者数60万人	-	繰
07 沖縄市	13 ①	商店街等活性化事業	R1 ～ R3	商店街の営業店舗数の増加を図るため、本市全域の商店街等の実態調査を行い、統計データ等を活用して課題を整理分析し、地域特性を活かした商店街等振興施策及び事業等の実施に向けた立案資料を策定する。	調査報告書の作成完了	調査報告書の作成完了	◎
07 沖縄市	14 ①	農業施設整備事業	R1 ～ R3	本市倉敷地区の耕種農家・畜産農家の農業用水を確保するため、倉敷ダム放流水を水源とした貯水池や取水施設の整備を行い、農業用水を安定的に供給することにより、耕作放棄地の解消や家畜出荷頭数の増加を図り、より安定した農業・畜産業経営の向上へと繋ぐ。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
08 豊見城市	1 ①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・駐車場施設の整備完了 ・園路照明灯の設置完了 ・実施設計の完了（屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路）	-	繰
08 豊見城市	1 ②	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H26 ～ R3	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」の実現を目的とする。 また、とみぐすく祭り会場にて豊見城市産品を一堂に会した産業フェスタを併催することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業の効果的なPRを行い産業の振興を図る。	とみぐすく祭りの開催・豊見城産業フェスタの開催 とみぐすく祭りの来場者数：8万人 ハーリー大会参加チーム数：63チーム	とみぐすく祭りの来場者数：57,178人 ハーリー大会参加チーム数：76チーム	○
08 豊見城市	1 ③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケートで魅力的な観光地としての景観形成を図られたとの回答 81%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
08 豊見城市	1 ④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R1	市内一周線の再編について、検討、評価を行うため、前年度実施した新庁舎移転後に行ったバスルート変更前の事前調査を基に、バスルート変更後のバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理及び豊見城市の望ましい公共交通のあり方の検討を行う。	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	アンケートで市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたとの回答 81%	◎
08 豊見城市	2 ①	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合（110%）	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：113%	◎
08 豊見城市	3 ①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	臨床心理士による認定こども園及び保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者・保育士へのアンケートで臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたとの回答 88.3%	◎
08 豊見城市	3 ②	心理相談事業	H27 ～ R3	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたとの回答 96.8%	◎
08 豊見城市	4 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において、特別な支援を要する幼児児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたとの回答 82.6%	◎
08 豊見城市	4 ②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校：+2.8ポイント ※H27～H29の県平均との差+2.7ポイント ②中学校：+1.9ポイント ※H27～H29の県平均との差+1.8ポイント	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校：+2.9ポイント ②中学校：-0.7ポイント	△
08 豊見城市	4 ③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善を図り、児童相談所等の関係機関とのネットワークの構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	支援対象ケース改善率36% （改善ケース／支援対象ケース件数）	支援対象ケース改善率41.73% （改善ケース／支援対象ケース件数）	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
08 豊見城市	4 ④	不登校等対策支援事業	H24～R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	不登校児童生徒復帰率20%以上 (学校復帰した児童生徒／新規不登校児童生徒)	不登校児童生徒復帰率18.48% (学校復帰した児童生徒／新規不登校児童生徒)	○
08 豊見城市	4 ⑤	英語教育推進事業	H25～R3	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語講師を派遣する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合 74%以上  ・中学生 沖縄県学力到達度調査（英語）での県平均正答率との差 +4.0ポイント	・小学生 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合 70.79%  ・中学生 沖縄県学力到達度調査（英語）での県平均正答率との差 -2.5ポイント	未
08 豊見城市	4 ⑥	ICT教育推進事業	R1～R3	わかりやすい授業によって教育の質の向上を図り、児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成を図るため、学校にICT機器を整備する。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、情報教育指導補助員を派遣する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。  ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったとの回答割合 81%  ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったとの回答割合 93.29%	◎
08 豊見城市	4 ⑦	児童生徒派遣費補助事業（部活分）	H25～R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒へのアンケートで対象児童の視野が広がったとの回答 100%	◎
08 豊見城市	4 ⑧	児童生徒派遣費補助事業（部活外）	H25～R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒へのアンケートで対象児童の視野が広がったとの回答 98.9%	◎
08 豊見城市	4 ⑨	青少年国際交流事業	H25～R3	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合 67%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
08 豊見城市	4 ⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R2	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	就業意識が向上したか（80%以上）を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	イベントに参加した児童生徒へのアンケートで就業意識が向上したとの回答 96%	◎
08 豊見城市	4 ⑪	学校給食施設塩害防止長寿命化事業	R1	施設の衛生機能を強化することで、児童生徒に安全安心な学校給食を提供する。	学校給食衛生管理基準違反：0件	学校給食衛生管理基準違反：0件	◎
08 豊見城市	4 ⑫	学習環境等整備事業	R1	市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。	調査設計業務の実施 断熱防水工事の実施	調査設計業務の実施 断熱防水工事の実施	◎
08 豊見城市	5 ①	組踊継承事業	H29 ～ R1	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	上演台本の発刊 50部	上演台本 50部発刊	◎
08 豊見城市	5 ②	文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 50,945回/年 ・文化財巡り参加者 400名/年	◎
08 豊見城市	6 ①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	プロチームへの誘致活動の完了 環境整備のための要望調査の完了 県内の先進自治体視察による情報収集の完了 備品の整備完了	プロチームへの誘致活動の完了 環境整備のための要望調査の完了 県内の先進自治体視察による情報収集の完了 備品の整備完了	◎
09 うるま市	1 ①	企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる。	目標企業誘致件数：3社以上	目標企業誘致件数：0社	未
09 うるま市	1 ②	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	技術力が向上したか（80%以上）を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	技術力が向上したとのアンケート回答割合：97%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
09 うるま市	1 ③	商品プロモーション事業	H25 ～ R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援や商談会を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展の1事業者平均売上額74,100円以上 ・商談成立件数8件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか（80%以上）を含め、本講座のあり方を検証	・物産展の1事業者平均売上額78,982円 ・商談成立件数10件 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったとの回答割合：94%	◎
09 うるま市	1 ④	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	輸送モデル実証実験の完了	輸送モデル実証実験の完了	◎
09 うるま市	1 ⑤	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R1	企業の工場用地の確保に向けた産業基盤整備計画を策定し、工場用地の確保を図る。	産業基盤基礎調査の完了	産業基盤基礎調査の完了	◎
09 うるま市	1 ⑥	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	商品の開発件数5件以上	商品の開発件数4件	○
09 うるま市	1 ⑦	新産業創出連携促進事業	R1 ～ R3	市の製造業における新たな製品を創出するための企業間連携の促進を図るため、企業間マッチングを行う。	マッチング件数 2件以上	マッチング件数 2件	◎
09 うるま市	1 ⑧	EV自動車普及促進事業	H25 ～ R3	うるま市産EV自動車の性能や安全性向上により、普及促進を図る。	・EV車の導入実証実験の完了 実証内容 車両性能・安全性 等	・EV車の導入実証実験の完了 実証内容 車両性能・安全性 等	◎
09 うるま市	2 ①	うるま市就労支援事業	H24 ～ R3	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	・就労支援を行った新規雇用者数340人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた（80%以上）を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	・就労支援を行った新規雇用者数342人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いたとの回答割合：96%	◎
09 うるま市	2 ②	うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成（OJT等）支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	・人材育成事業の実施	・人材育成事業の実施	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
09 うるま市	3 ①	観光商品開発流通促進事業	H24 ～ R3	体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る。	体験型観光商品メニューを体験した観光客数2,200人以上	体験型観光商品メニューを体験した観光客数2,191人	○
09 うるま市	3 ②	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力を県内外に向けPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光誘客を図る。	主要施設来場者数 355051人以上	主要施設来場者数 317,357人	○
09 うるま市	3 ③	観光イベント連携・交流事業	R1 ～ R3	あやはし海中道路を活用し、新たな観光イベントの実施及び県外の友好都市等の催事において観光PRを実施し、観光客の誘客を図る。	・イベント来場者数：10,000人以上	・イベント来場者数：15,000人	◎
09 うるま市	3 ④	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	・新規合宿誘致数 1件	・新規合宿誘致数 3件	◎
09 うるま市	4 ①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化施設建築工事の完成</li> <li>・観光ターミナル建築工事の完成</li> <li>・歴史文化施設展示製作業務の一部完成</li> <li>・用地取得の完了</li> <li>・物件移転補償（公共補償）の一部完了</li> </ul>	-	繰
09 うるま市	5 ①	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	①景観地区指定委託業務（伊計地区）の完了 ②まちなみ景観助成（南風原・浜比嘉地区）の完了	①景観地区指定委託業務（伊計地区）の完了 ②まちなみ景観助成（南風原・浜比嘉地区）の完了	◎
09 うるま市	6 ①	島アートプロジェクト事業	H24 ～ R3	島の風景と融合した「アート」を活用した展示会やイベントを創出することで、島しょ地域における交流人口の拡大を図る。	来場者数：9,700人以上（16日開催） イベント来場者の満足度：80%以上	来場者数：6,552人（10日開催） イベント来場者の満足度：92%	○
09 うるま市	7 ①	循環型農業促進事業	H30 ～ R1	循環型農業促進事業基本計画を策定し、家畜排泄物の堆肥化による農地への還元に向けた循環型農業の促進を目指す。	循環型農業促進事業基本計画の策定	循環型農業促進事業基本計画の策定	◎
09 うるま市	7 ②	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉野菜（1,500kg/10a）</li> <li>・かぼちゃ（960kg/10a）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉野菜（0kg/10a）</li> <li>・かぼちゃ（0kg/10a）</li> </ul>	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
09 うるま市	7 ③	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R3	観光振興や定住化等の離島振興策、農業参入意欲ある企業誘致等と連携した農業再生・活性化プランを策定し、津堅島農業の担い手確保及び津堅ニンジンの生産増を図る。	①津堅島農業再生・活性化プランの策定 ②津堅ニンジン生産量増166.3t→300t	①津堅島農業再生・活性化プランの策定 ②津堅ニンジン生産量増106t	△
09 うるま市	8 ①	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 -4.3ポイント	未
09 うるま市	8 ②	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 -1.5	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 -4.0ポイント	未
09 うるま市	9 ①	配慮を要する子巡回指導事業	H24 ～ R3	「配慮を要する子」の保育等に関し、市内保育施設に勤務する職員に対して、専門指導員による助言や研修会等を行い、保育の質の向上を図る。	・相談終結件数の割合40% ・保育所施設研修における理解度95%	・相談終結件数の割合63.6% ・保育所施設研修における理解度98%	◎
09 うるま市	9 ②	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R3	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用につなげるにより、ひとり親家庭の自立に繋げる。 また、児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る。	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合95% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたか（80%以上）を含め、当該支援のあり方について、検証	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合100% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたとの回答割合：89%	◎
09 うるま市	10 ①	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・不登校児童生徒復帰率59%以上（のべ復帰者/のべ不登校者） ・児童生徒及び家族からの相談件数（実数）に対するの課題解決件数割合21%以上	・不登校児童生徒復帰率8%（のべ復帰者/のべ不登校者） ・児童生徒及び家族からの相談件数（実数）に対するの課題解決件数割合34%	△
09 うるま市	10 ②	教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数に対するの課題解決割合29%以上	相談件数に対するの課題解決割合34%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
09 うるま市	10 ③	適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	・体験活動に参加することができた割合79%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合89%以上	・体験活動に参加することができた割合86% ・中学3年生の卒業後の進路決定割合75%	○
09 うるま市	10 ④	特別支援教育相談事業	R1 ～ R3	小中学校に設置されている特別支援学級の担任・ヘルパーを対象に各学校へ巡回指導や研修、さらに保護者への相談支援等を実施することで特別支援教育に係る不安の解消を図る。	・特別支援教育にかかる不安が解消されたか（80%以上）を含め、教師や保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・特別支援教育にかかる不安が解消されたとのアンケート回答割合：71%	○
09 うるま市	11 ①	うるま市自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回訓練を実施	◎
09 うるま市	12 ①	うるま市スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・部活動加盟率及び在籍生徒数52%以上（2,043人） ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。（80%）」を含め、取組のあり方を検証する。	・部活動加盟率及び在籍生徒数57%（2,334人） ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたい」との回答割合：未実施	△
10 宮古島市	1 ①	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ R3	訪れた観光客の満足度向上を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用し、散策コースの策定及び環境美化を行う。	・満足度が向上したか（80%以上）を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・満足度が向上したかについて肯定的な意見93.6%	◎
10 宮古島市	1 ②	観光拠点施設整備事業	R1	観光誘客及び満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。	観光拠点施設の工事の完了 備品購入の完了	観光拠点施設の工事の完了 備品購入の完了	◎
10 宮古島市	1 ③	伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、通り池のトイレ増築工事を行う。	・通り池トイレの増築工事の完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
10 宮古島市	1 ④	新城海岸環境整備事業	H28 ～ R1	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設工事を実施する。	水道管敷設工事の完了	水道管敷設工事の完了	◎
10 宮古島市	1 ⑤	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	H28 ～ R3	観光誘客を図るため、トロピカルフルーツパークの熱帯果樹の植栽と加工・研修施設整備の基本設計を行う。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
10 宮古島市	1 ⑥	宮古島市伝統工芸品センター機能強化事業	R1	観光誘客を図るため、宮古島市伝統工芸品センターに冷房機の設置工事を実施する。	観光メニュー体験者数 R1 180人（2019年7月～2020年3月）	観光メニュー体験者数 R1 3人（2019年10月～2020年3月）	未
10 宮古島市	1 ⑦	観光施設美装化事業	R1	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、竜宮城展望台内外壁の美装化塗装工事を実施する。	・竜宮城展望台美装化塗装工事の完了	・竜宮城展望台美装化塗装工事の完了	◎
10 宮古島市	2 ①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化（除草・清掃）を行う。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるかについて肯定的な意見83.5%	◎
10 宮古島市	2 ②	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるかについて肯定的な意見93.6%	◎
10 宮古島市	3 ①	クルーズ船観光受入体制強化事業	H29 ～ R3	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の設置・運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船観光客数506,800人以上	クルーズ船観光客数327,932人	未
10 宮古島市	3 ②	誘客促進事業	H24 ～ R3	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動の実施、国内外の新規航空路線就航に向けたPR活動、官民が連携した「宮古島市観光推進協議会（仮）」の開催により各種取組の推進を図る。	入域観光客数1,000,000人以上	入域観光客数1,061,323人	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
10 宮古島市	3 ③	下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業	H30 ～ R1	下地島空港を利用する観光客等の誘客を図るため、地域の資源・魅力を感じられるコンテンツ（短時間周遊や体験プログラム等）の強化・改善を行う。	開発コンテンツの強化・改善業務の完了	開発コンテンツの強化・改善業務の完了	◎
10 宮古島市	4 ①	宮古島市天然ガス資源活用推進事業	H28 ～ R1	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水（温泉水）を活用した事業化実現のため、コンテナ植物工場継続実証、100%天然ガス使用発電機の実証、採掘権取得を行う。	・コンテナ植物工場の収穫326.4kg以上 ・100%天然ガス使用発電機による発電25kw ・採掘権取得	・コンテナ植物工場の収穫95.76kg ・100%天然ガス使用発電機による発電19.8kw ・採掘権取得	△
10 宮古島市	4 ②	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28 ～ R1	市民や事業者のエコへの関心を高めるため、エコの取り組みに対する情報発信やイベント等を開催するとともに、これまでの取組の効果検証を図り、持続的な運営方法を検討する。	・ウェブサイトのアクセス数：85,000件 ・SNSの「いいね」数：1,100件 ・各種イベント参加者数：合計600名	・ウェブサイトのアクセス数：41,535件 ・SNSの「いいね」数：1,467件 ・各種イベント参加者数：合計202名	△
10 宮古島市	5 ①	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	沖縄本島への輸送が空路に限定される生鮮水産物の出荷量増加を図るため、出荷が同距離の陸路輸送費並みの運賃となるよう補助金を交付する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量（153.2トン）	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量（104.5トン）	未
10 宮古島市	5 ②	宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R2	安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化に向けた水槽設置工事を行う。	水槽設置工事の完了	-	繰
10 宮古島市	5 ③	来間東航路標識灯設置事業	H30 ～ R1	航路の安全性を確保するため、南パヤオ（伊良部南浮魚礁）に航路標識灯（灯標）3基を設置する。	航路標識等設置工事の完了	航路標識等設置工事の完了	◎
10 宮古島市	6 ①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R2	観光客等の事故や傷病の発生に対する応急手当の普及を図るため、専属の応急手当普及員を配置し、救命講習会を開催する。	①救命講習受講者数1,700人以上 ②救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか（80%以上）を含め本事業のあり方を検証する。	①救命講習受講者数1,529人 ②救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたかについて肯定的な意見71.8%	○
10 宮古島市	7 ①	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・不登校児童生徒復帰率50%以上（のべ復帰者/のべ不登校者）	・不登校児童生徒復帰率23%（のべ復帰者/のべ不登校者）	未



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
10 宮古島市	7 ②	選手派遣支援事業	H24 ～ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	児童生徒が広い視野を持てたかについて肯定的な意見97%	◎
10 宮古島市	7 ③	移動図書館整備事業	R1	図書館利用の難しい住民の学習環境の向上を図るため、移動図書館を整備し、公共図書館へアクセスし難い地域等を定期的に巡回する。	移動図書館の年間貸出数 7,950冊以上	-	繰
10 宮古島市	7 ④	電子黒板整備事業	H30 ～ R1	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の普通学級及び特別教室に電子黒板を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合72%	○
10 宮古島市	8 ①	高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ R2	本市への高等教育機関の設置に向けた、学校経営・学生確保等に関する実現可能性の検証（実証）を実施する。	高等教育機関の設置実現に向けた、課題の把握	高等教育機関の設置実現に向けた、課題の把握完了	◎
10 宮古島市	9 ①	平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ R3	平良港において近年増加する取扱物流量に対応できるようにするため、総合物流センターを整備する。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
10 宮古島市	10 ①	地下水保全調査事業	H29 ～ R2	島内地下水の保全及び伊良部島における水源地の確保に繋げるため、平良地下水流域の流域界特定調査結果の分析及び伊良部島における水源開発の可能性調査を行う。	1)伊良部島における水源可能性調査の完了 2)平良地下水流域の流域界特定調査結果の分析完了	1)伊良部島における水源可能性調査の完了 2)平良地下水流域の流域界特定調査結果の分析完了	◎
10 宮古島市	11 ①	城辺地区世代間交流施設等に関する検討事業	R1 ～ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び、高齢者の生きがいを図るため、城辺地区に多世代が集い、交流できる施設を整備する。	基本計画の策定完了	基本計画の策定完了	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致を図る。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数：3チーム	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数：1チーム	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
11 南城市	1 ②	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ R1	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」に基づき、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学べる機会を創出することで、市の歴史文化の継承を図る。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったかについて肯定的な回答：85%	◎
11 南城市	1 ③	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R2	市産商品の売上増加を図るため、市産商品のPR及び販売活動を行う。	商品の売上額：441万円以上 （出展するイベント等での売上額）	商品の売上額：3,091,969円	○
11 南城市	1 ④	海外交流推進事業	H28 ～ R1	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有するとともに、外国人観光客に関する誘客要素や希望を調査する。	斎場御嶽における外国人観光客数40,000人以上/年	斎場御嶽における外国人観光客数21,194人	未
11 南城市	1 ⑤	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画（各論その3）を策定する。	南城型エコミュージアム実施計画（各論その3）策定（9地域）	南城型エコミュージアム実施計画（各論その3）策定（9地域）	◎
11 南城市	1 ⑥	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ R1	公共駐車場の整備により、各種イベント時の駐車場不足やイベント開催拠点の確保等の課題を解消することで来訪者の利便性を確保する。また、災害発生時の避難場所及び防災拠点として活用することで、市民や観光客等の安全確保を図る。	・駐車場利用者の利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。 ・整備した駐車場を活用した防災訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	・駐車場利用者の利便性が確保されたと回答した割合：85.7% ・整備した駐車場を活用した防災訓練（1回/年）	◎
11 南城市	1 ⑦	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、世界遺産斎場御嶽をはじめ、東御廻りに関するスポットの周辺整備等を行う。 今年度は、世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画を策定する。	世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定完了	世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
11 南城市	1 ⑧	南城市観光交通実施計画策定事業	R1	観光客の市内交通に関する利便性の確保を図るため、観光交通のあり方や公共交通の利用促進に向けた取組を定めた観光交通実施計画を策定する。	南城市観光交通実施計画策定完了	南城市観光交通実施計画策定完了	◎
11 南城市	2 ①	平和学習受入体制強化事業	H25～R2	系数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、来訪者の安全確保及び戦跡の保全のための工事を行い、沖縄戦の歴史の継承及び観光誘客を図る。今年度は、ガマ内の保全対策工事を行う。	第1期保全対策工事の完了	第1期保全対策工事の完了	◎
11 南城市	3 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26～R3	肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向け、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：113%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：112.4%	○
11 南城市	3 ②	優良乳用牛リース支援事業	H27～R1	酪農家の経営の安定化に向け、乳用牛の生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、酪農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・生産乳量（1頭）：7,860kg以上/年 ・乳質（脂肪率）：3.89%以上	・生産乳量（1頭）：7,988kg/年 ・乳質（脂肪率）：3.87%	○
11 南城市	4 ①	低炭素なまちづくり推進事業	H28～R3	防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。	LEDに切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量の削減効果：36,000kg-CO2/年の削減	LEDに切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量の削減効果：57,473kg-CO2/年	◎
11 南城市	5 ①	学習支援員配置事業	H25～R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校：県平均以上 ・中学校：県平均以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差 ・小学校：-0.9 ・中学校：-0.3	未
11 南城市	5 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25～R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度について、保護者からの肯定的な回答：88.5%	◎
11 南城市	6 ①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～R3	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関することなど、本市の歴史・文化について調査研究・整理した図書を作成し、活用することで、歴史・文化の継承を図る。	・本事業の調査成果を活用した学習会への参加人数：30人以上/年	・本事業の調査成果を活用した学習会：中止	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
12 国頭村	1 ①	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R1	スポーツ施設の機能強化によるスポーツ合宿の実施増加に繋げるため、ウエイトルームを整備する。	・現場技術監理業務の完了 ・ウエイトルーム整備工事の完了	現場技術監理業務の完了 ウエイトルーム整備工事の完了	◎
12 国頭村	2 ①	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ～ R2	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 117%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 121%	◎
12 国頭村	3 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R2	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い学力の向上を図るため、学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語：-1.0ポイント以内 算数：-3.1ポイント以内 理科：-1.9ポイント以内 中学校 国語：-0.33ポイント以内 算数：-0.07ポイント以内 理科：-0.97ポイント以内 社会：-1.3ポイント以内	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語：-1.5ポイント 算数：-2.8ポイント 理科：-1.9ポイント 中学校 国語：-1.9ポイント 数学：-0.7ポイント 理科：-1.7ポイント 社会：-1.7ポイント	△
12 国頭村	3 ②	生徒指導支援員配置事業	H30 ～ R2	不登校の児童生徒に対応した支援を行い不登校の改善を図るため、生徒指導支援員を配置する。	不登校児童生徒復帰率 30%以上	不登校児童生徒復帰率 75%	◎
12 国頭村	3 ③	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	・認定こども園・小学校 英検 j r 取得率 ブロンズ 小学校 5 年生：83%以上 シルバー 小学校 6 年生：80%以上 ・中学校2年生 到達度調査（英語）平均正答率 沖縄県との差：3.5ポイント ※支援を受けた認定こども園児は、小学校へ進級して受験	・認定こども園・小学校 英検 j r 取得率 シルバー 小学校 5 年生：42% シルバー 小学校 6 年生：67% ・中学校2年生 到達度調査（英語）平均正答率 沖縄県との差：-5.7ポイント	未
12 国頭村	3 ④	学習支援教室委託事業	H28 ～ R2	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室（村営塾）を設置する。	受講生の高校受験合格率：100%	受講生の高校受験合格率：100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
12 国頭村	4 ①	環境保全・美化推進事業	H27 ～ R1	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・ネコ・イヌ対策を行う。	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止（咬傷被害0件） ネコ・イヌの野生化未然防止（ネコ・イヌによるヤンバルクイナの捕食5件以下）	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止 3件 ノラネコ・ノライヌの野生化未然防止 1件	△
12 国頭村	5 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川（辺土名川）の整備を行う。	河川工事整備率 61%（734m/全体延長L=1,200m）	河川工事整備率 62%（746m）	◎
13 大宜味村	1 ①	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ R3	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	・大宜味村産業まつり来場者数 5,500名以上 ・PRイベント交流人口 15,000名以上	・大宜味村産業まつり来場者数 5,558名 ・PRイベント交流人口 21,400名	◎
13 大宜味村	1 ②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R2	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・ハブ咬傷被害：1件以下 ・ヤンバルクイナの生息率：15.4%以上 ・保護した猫の譲渡：40件以上	・ハブ咬傷被害：1件 ・ヤンバルクイナの生息率：23.1% ・保護した猫の譲渡：39件	○
13 大宜味村	1 ③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	R1	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・観光振興基本計画の作成完了	・累計河川工事整備率 63%（1,638m/全体延長2,600m）	○
13 大宜味村	1 ④	結の浜地区海浜等整備事業	H26 ～ R3	結の浜地区において観光の振興を図るため、人工海浜及び周辺施設整備に向けた基本計画を策定する。	・累計河川工事整備率 64%（1,658m/全体延長2,600m）	-	繰
13 大宜味村	1 ⑤	第二次大宜味村観光振興基盤整備事業	R1	観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、村の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	・結の浜海浜整備基本計画の策定	-	繰
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	R1年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 -1.5ポイント以上 ・中学校 -1.0ポイント以上	R1年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 -3.1ポイント ・中学校 5.8ポイント	△

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
13 大宜味村	2 ②	地域支援員配置事業	H25～R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	◎
13 大宜味村	2 ③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25～R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	・講座受講者数 252名以上	・講座受講者数 776名	◎
13 大宜味村	2 ④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26～R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	・派遣された児童・生徒の保護者へアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	・派遣された児童・生徒の保護者へアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたとの回答割合：100%	◎
13 大宜味村	3 ①	カラキ活用推進プロジェクト	H28～R1	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増加を図る。今年度は苗木の増殖実験、加工法の検討等を行う。	・前年までの挿し木の管理及び剪定方法と萌芽状況確認 ・定植苗配布 ・加工商品開発のための加工法の検討をする ・挿し木の完了 ・PR活動を実施する	・前年までの挿し木の管理及び剪定方法と萌芽状況確認 ・定植苗配布 ・加工商品開発のための加工法の検討をする ・挿し木の完了 ・PR活動を実施する	◎
13 大宜味村	4 ①	大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28～R1	働く保護者等の子育て支援の充実を図るため、幼保連携型総合施設を整備する。	令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施（建築、外構工事、建築監理業務、備品購入の完了）	令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施（建築、外構工事、建築監理業務、備品購入の完了）	◎
13 大宜味村	5 ①	喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業	R1	喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作しやんばるの森デジタルセンターに展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施する。	年度内での制作完了及び展示	年度内での制作完了及び未展示	△
14 東村	1 ①	東村つつじ祭り強化事業	H27～R1	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、つつじ園内のライトアップやイベントを行なうことにより、観光振興に繋げる。	つつじ祭り来場者数42,000人以上	遂行困難	-
14 東村	1 ②	東村村民の森（つつじ園・エコパーク）施設機能強化整備事業	H27～R2	「東村村民の森基本計画」を元に、観光誘客に繋げる取組みとして、つつじ園内に観覧施設を整備する。	観覧施設の整備完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「緑」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
14 東村	1 ③	東村企業研修プログラム構築事業	H29 ～ R1	企業研修の誘致を図るため、つつじエコパーク内にあるPA（プロジェクトアドベンチャー：冒険教育）施設を企業研修向けに商品開発を行う。	プログラム販売体制の構築完了	プログラム販売体制の構築完了	◎
14 東村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R3	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度（80%以上）を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	支援員に対する満足度100%	◎
14 東村	3 ①	産業支援住宅整備事業	H29 ～ R1	本村における第1次産業従事者を確保するため、宮城地区において産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅の建設（4棟）及び造成外構工事の完了	-	緑
14 東村	4 ①	避難経路整備事業	H30 ～ R1	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。	避難経路の整備完了	避難経路の整備完了	◎
14 東村	5 ①	東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R1	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業の在り方を検証する。	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったかについて肯定的な回答90%	◎
15 今帰仁村	1 ①	人材育成事業	H24 ～ R3	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証：100%	◎
15 今帰仁村	1 ②	教育環境充実事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 ①小学生 -0.8ポイント以上 ②中学生 -7.1ポイント以上 ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 ①小学生 -0.9ポイント ②中学生 -6.5ポイント ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証：100%	△
15 今帰仁村	1 ③	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R3	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証：100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
15 今帰仁村	1 ④	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証：85%	◎
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R3	本観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証：81%	◎
15 今帰仁村	2 ②	観光力基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図る為、村内で実施するイベントを支援する。	・現代版組踊「北山の風」来場数：1,300人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数：3,600人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数：48,500人 ・今帰仁まつり来場者：10,200人 ・三村交流事業来場者：1,400人	・現代版組踊「北山の風」来場数：1,076人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数：3,651人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数：33,888人 ・今帰仁まつり来場者：10,400人 ・三村交流事業来場者：1,200人	○
15 今帰仁村	2 ③	観光地安全強化事業	H24 ～ R3	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	◎
15 今帰仁村	2 ④	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R3	今帰仁城跡付近を流れる今泊港川について、自然環境を最大限に活かした河川に整備し、魅力的な景観形成を図る。	全体計画における17.8%整備 (累積整備率55.5%)	-	繰
15 今帰仁村	2 ⑤	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R3	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	ガイドによる案内者数 12,400名	ガイドによる案内者数 11,362名	○
15 今帰仁村	2 ⑥	景観形成強化事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	・実施設計完了（張りコンクリート工事、側溝敷設、排水路設置工事、簡易舗装工事） ・排水路設置工事完了	-	繰



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
15 今帰仁村	2 ⑦	今帰仁城跡等情報発信強化事業	R1	映像コンテンツを用いた情報発信により村の認知度向上を図り、観光誘客へつなげる。	・映像コンテンツの制作完了 ・デジタルサイネージの設置完了	・映像コンテンツの制作完了 ・デジタルサイネージの設置完了	◎
15 今帰仁村	2 ⑧	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R3	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。	令和2年度の民泊客（予約の人数） 12,000人（60校） （内訳） ・新規 31校 ・リピーター 29校	15,555人（69校）	◎
15 今帰仁村	3 ①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 113%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 104%	未
15 今帰仁村	4 ①	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ～ R1	村の待機児童の解消を図るため、幼保連携一体化施設を整備する。	外構工事（駐車場）の完了。 転落防止柵の設置工事の完了。	外構工事（駐車場）の完了。 転落防止柵の設置工事の完了。	◎
16 本部町	1 ①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・観光客へのアンケート 観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる人の割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	・観光客へのアンケート 観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じた回答の割合 86%	◎
16 本部町	1 ②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブによる咬傷被害件数0件	ハブによる咬傷被害件数 2件	未
16 本部町	1 ③	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	闘牛・闘山羊大会来場者数：880人 もとぶ元気夕市来場者数：7,680人以上	闘牛・闘山羊大会来場者数：670人 もとぶ元気夕市来場者数：10,858人	○
16 本部町	1 ④	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ R1	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画策定	観光振興基本計画策定	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
16 本部町	1 ⑤	八重岳山頂パーク（仮称）整備事業	R1 ～ R3	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には多くの観光客が訪れており、今後も本町の主要な観光拠点として活用するため、山頂付近に自然やロケーション活用した環境整備を行い観光客等が訪れる景勝地づくりを推進し、さらなる観光客の誘致を図る。	基本構想の策定完了	基本構想の策定完了	◎
16 本部町	2 ①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	強化型パイプハウス設置の完了	強化型パイプハウス設置の完了	◎
16 本部町	2 ②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R4	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合107%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合103%	未
16 本部町	2 ③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数 10件	◎
16 本部町	2 ④	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R1	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	【平成30年度開発特産品】 ①アセローラ酢販売額：228千円 ②アセローラプレザーブ販売額：160千円 ③生姜入りシークワースードリンク販売額：252千円	【平成30年度開発特産品】 ①アセローラ酢販売額：255千円 ②アセローラプレザーブ販売額：1,960千円 ③生姜入りシークワースードリンク販売額：805千円	◎
16 本部町	2 ⑤	農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	産業支援住宅の基本計画策定完了	産業支援住宅の基本計画策定完了	◎
16 本部町	2 ⑥	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25 ～ R1	本町では少数飼育農家が多数であり、定期的に一定量の出荷が難しいことや粗飼料自給率が低いことから、経営を逼迫している状況である。そのため各地区に共同山羊舎の整備及び機械導入を行うことで、畜産農家の経営安定化を図る。	農業用機械（粗飼料管理機一式）の導入完了	農業用機械（粗飼料管理機一式）の導入完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
16 本部町	3 ①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R1	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	小中高生へのアンケートで働くことへの興味・関心が湧いたとの回答 94.6%	◎
16 本部町	4 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。また教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できるように、教員の事務作業の補助も行う。	令和元年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -6.9ポイント以上 中学校 -2.5ポイント以上	令和元年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.29ポイント 中学校 -3.1ポイント	未
16 本部町	4 ②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合 100%	◎
16 本部町	4 ③	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒（心身の障害及び発達障害）に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、特別支援員への満足度（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、特別支援員への満足度 83%	◎
16 本部町	5 ①	赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ R1	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への赤土流出について、その発生源に対する対策を実施し、赤土流出を軽減することで環境保全を図る。	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,300m <sup>3</sup>	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,357m <sup>3</sup>	◎
16 本部町	6 ①	防災施設機能強化整備事業	H29 ～ R1	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	・緊急避難路整備の完了	・緊急避難路整備の完了	◎
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	H24 ～ R3	地域住民や観光客のハブ咬症被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブやタイワンズジロウの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を400箇所を設置する。	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数：0件	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数：0件	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
17 恩納村	1 ②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、各種イベントやプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント観覧者数：15,000人以上</li> <li>・ 村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ302万人以上</li> <li>・ 観光客の利便性が確保されたか（80%以上）を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント観覧者数：12,400人</li> <li>・ 村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ262万人</li> <li>・ 観光客の利便性が確保されたかについて肯定的な回答85%</li> </ul>	○
17 恩納村	1 ③	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ～ R1	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は建築及び外構工事を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築及び外構工事の完了</li> <li>・ Wi-Fi、デジタルサイネージ及び防犯カメラ設置工事の完了</li> <li>・ 家具設置工事の完了</li> <li>・ 展示資料作成の完了</li> <li>・ 展示備品購入完了</li> </ul>	-	繰
17 恩納村	1 ④	あしびなー施設整備事業	H29 ～ R2	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、中泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は建築実施設計を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築実施設計の完了</li> <li>・ 用地取得の完了</li> </ul>	-	繰
17 恩納村	2 ①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、排水路を整備する。今年度は、第2期改修工事を行う。	排水路中流部（348m）の完成。	排水路中流部（348m）の完成。	◎
17 恩納村	3 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	特別支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたかについて肯定的な回答97%	◎
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、野球場仮設ブルベンの設置やグラウンド黒土搬入等を行う。	・ 阪神春季キャンプ見学者数（86,000人）	・ 阪神春季キャンプ見学者数 80,800人	○
18 宜野座村	1 ②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R3	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術文化・伝統芸能公演の集客数（2,520名以上）</li> <li>・ お出かけ公演実対象者数（5,250名以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術文化・伝統芸能公演の集客数 7,119名</li> <li>・ お出かけ公演実対象者数 4,624名</li> </ul>	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
18 宜野座村	1 ③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光関連人材の育成等を行う。	・宜野座村の観光入客数（24.5万人）	・宜野座村の観光入客 24万人	○
18 宜野座村	1 ④	宜野座村美ら島花火大会	H28 ～ R3	秋の行楽シーズン、宜野座村や近隣市町村を訪れている観光客に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心に、花火大会やステージイベントを開催し観光振興を図る。	美ら島花火大会集客数（10,000人/2日間）	美ら島花火大会集客数 13,600人/2日間	◎
18 宜野座村	1 ⑤	宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H27 ～ R3	がらまんホールに、音響、照明、映像等のデジタル機材を設置し、これまで以上の利用促進による文化振興及び観光誘客を図る。	デジタルモニター実施設計・設置完了	デジタルモニター実施設計・設置完了	◎
18 宜野座村	1 ⑥	農村沿道景観向上事業	R1 ～ R3	魅力的な自然環境観光地を形成するため、リゾート観光客の散策路（農道）の美化に努める。	安全で快適な散策ができたか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	観光客等に対するアンケート：未実施	未
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上（差0ポイント以上） ・小学校3年・4年・5年・6年（算数）	沖縄県学力到達度調査平均正答率 小学校3年算数（-4.8） 小学校4年算数（-5.0） 小学校5年算数（-2.0） 小学校6年算数（3.1）	△
18 宜野座村	2 ②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上（差0ポイント以上） ・中学校2年（国語、数学、英語、理科、社会）	沖縄県学力到達度調査平均正答率 中2国語（-0.4） 中2数学（-1.7） 中2英語（0.6） 中2理科（15.4） 中2社会（7.3）	△
18 宜野座村	2 ③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者が安心・安全に子どもを預け育児における負担感の軽減を図るため、幼稚園において預かり保育を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、対象となる幼児の保護者へのアンケートで事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた保護者の割合：100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
18 宜野座村	2 ④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28～R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に村内の中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと回答した割合：80%	◎
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24～R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や、減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	・エコファーマーの認定者数 3名 ・エコ農産物販売目標 135t	・エコファーマーの認定者数 2名 ・エコ農産物販売目標 69t	未
18 宜野座村	3 ②	農業用観光施設モデル整備事業	H28～R1	県内外から多くのイチゴ狩り来客者を受け入れることで、観光型農業による本村観光の振興を図るため、イチゴ用ハウス及び作業棟の整備を行う。	R1/R2年 イチゴ狩り来客者 4,100名	R1年 イチゴ狩り来客者 2,195人	未
18 宜野座村	3 ③	さとうきび営農指導委託事業	H28～R2	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業や営農指導等を行う。また、担い手を確保し、講習会を実施する。	R1年生産量5,264t以上	R1年 生産量4,042t	○
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27～R3	観光地の景観向上を図るため、観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去を実施する。	・観光地における不法投棄の減少：10件/年以内	・観光地における不法投棄の減少：0件/年	◎
18 宜野座村	4 ②	危険生物駆除捕獲事業	H27～R3	観光客や修学旅行生等の安全を確保することを目的とし、咬傷事故等を未然に防ぐため、捕獲器の設置や観光地のパトロールを実施する。	・観光地におけるハブの咬傷被害件数：0件	・観光地におけるハブの咬傷被害件数：1件	未
18 宜野座村	5 ①	宜野座村企業誘致推進事業	H28～R3	企業の誘致を図るため、県外ITイベントにおけるブースの出展や情報系企業の招聘セミナー等を実施する。	・企業誘致ブース来場者：200名 ・招聘ツアー参加者：20人	・企業誘致ブース来場者：200名 ・招聘ツアー参加者：32人	◎
18 宜野座村	6 ①	世界のギノザンチュ子研修生受入事業	H29～R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと回答した割合：100%	◎
19 金武町	1 ①	パークゴルフ場整備事業	H28～R1	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	建築工事の完了	建築工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
19 金武町	1 ②	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプの継続受け入れを図るため、体育施設の芝管理等を行う。	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	プロチームキャンプの受入 5チーム	◎
19 金武町	1 ③	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R3	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。	①地域活性化イベント来場者数 6,547人 ②観光・物産PRブース来場者数 3,364人	①地域活性化イベント来場者数 7,804人 ②観光・物産PRブース来場者数 2,893人	○
19 金武町	2 ①	金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約97%	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 105%	◎
19 金武町	3 ①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R3	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童生徒の職業意識の向上を図るため、キャリア教育を図る。	・就業率10.8%以上 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	・就業率7.5% ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか 95.9%	○
19 金武町	4 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力（英語）の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	・小学校 平均正答率84.5%以上。 ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率26%以上。	・小学校 平均正答率80.3% ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率44.4%	○
19 金武町	4 ②	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 100%	◎
19 金武町	4 ③	特別支援教育支援事業	H24 ～ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか 100%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
19 金武町	5 ①	金武町海外移住者子弟等受入事業	H29 ～ R3	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか100%	◎
19 金武町	5 ②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	移民の日関連事業参加者数：550人	移民の日関連事業参加者数：561人	◎
19 金武町	6 ①	「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ R1	町出身の偉人の功績や町の歴史、文化、精神を後世へ継承するため、金武町の偉人及び民話を絵本化する。	寄贈先の読者へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	未実施	未
20 伊江村	1 ①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R1	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による被害件数0件	・ハブ咬傷による被害件数 1件	未
20 伊江村	2 ①	村立保育所整備事業	R1 ～ R2	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。	・用地取得事務の完了 ・実施設計の完了	・用地取得事務の完了 ・実施設計の完了	◎
20 伊江村	3 ①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	村民へのアンケートを実施し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたかの割合 100%	◎
20 伊江村	4 ①	村花・世界のゆり推進事業	H24 ～ R2	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。また、「ゆり祭り」期間中に、イベントを開催し観光誘客を図る。	第24回伊江島ゆり祭り来場者数 R1年29,000人	第24回伊江島ゆり祭り来場者数 R1年36,000人	◎
20 伊江村	4 ②	観光地クリーン事業	H27 ～ R2	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客にアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたかの割合：100%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
20 伊江村	4 ③	観光客誘客環境整備事業	H26 ～ R2	伊江村にある観光施設、リリーフィールド公園整備、伊江村青少年旅行村基本構想策定を行うことで伊江村観光振興の向上を図る。	(リリーフィールド公園) 施設整備完了  (伊江村青少年旅行村) 基本構想策定完了	(リリーフィールド公園) 施設整備完了  (伊江村青少年旅行村) 基本構想策定完了	◎
20 伊江村	4 ④	観光誘客推進事業	R1 ～ R3	継続的な観光振興を推進するため、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動や観光情報を発信し、伊江村の認知度向上を図り、観光誘客へ繋げる。	集客イベントでのブース来場者数 県内：500人以上（各イベント毎） 県外：1,000人以上（各イベント毎）	集客イベントでのブース来場者数 県内：1,600人以上（各イベント毎） 県外：3,450人以上（各イベント毎）	◎
20 伊江村	5 ①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 5ポイント以上 中学校 3ポイント以上	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語：+3.3 算数：-3.3 ○小学校4年 算数+3.6 ○小学校5年 国語：-1.3 算数：-0.1 理科：-3.9 ○小学校6年 算数：-15.8 ○中学校1年 数学：+3.6 ○中学校2年 国語：-2.9 社会：+3.0 数学：+4.6 理科：-0.3 英語：+6.1	△
20 伊江村	5 ②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R3	沖縄本島との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	対象児童の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートを実施し、対象児童の視野が広がった割合 88.6%	◎
20 伊江村	6 ①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R3	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか（80%以上）を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	イベントに参加した児童生徒へのアンケートを実施し、就業意識が向上した割合 98%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
20 伊江村	7 ①	伊江村小学校ICT機能強化事業	R1	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に教育用パソコンを整備する。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか（80%以上）を含め、ICT機器の活用のあり方を検証	児童へのアンケートを実施し、ICT機器を活用できたと感じた割合 84.5%	◎
20 伊江村	8 ①	離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R1	伊江村の漁業振興に向けて、これまで夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により、琉球石灰岩地層の地下海水を汲み上げ、新たな過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた、試験栽培及び実施設計を行う。	・試験栽培による品種の選定	試験栽培による品種の選定	◎
20 伊江村	9 ①	伊江村パークゴルフ場整備事業	R1	新たな観光誘客施設としてパークゴルフ場を整備し、伊江島ハイビスカス園等とも連携した滞在型観光への取り組みを行う。	パークゴルフ場整備工事の実施設計の完了 パークゴルフ場整備工事の完了	パークゴルフ場整備工事の実施設計の完了 パークゴルフ場整備工事の完了	◎
20 伊江村	10 ①	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ～ R1	スポーツ合宿の受入機能強化など、スポーツコンベンションを推進するため、伊江村多目的交流センターを整備する。	伊江村多目的交流センターの基本計画の完了	伊江村多目的交流センターの基本計画の完了	◎
21 読谷村	1 ①	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプ等の誘致及び観光誘客を図るため、各種スポーツキャンプ・大会等の誘致活動、キャンプチーム本拠地での観光・物産PRイベント、キャンプ期間中の集客イベントの実施、SNSを通じた観光情報等の情報発信等を行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 26件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 23,275人以上	・スポーツコンベンション誘致件数 29件 ・イベント観客数102,981人 ・キャンプ期間中の来場者数 23,730人	◎
21 読谷村	1 ②	危険生物駆除事業	H25 ～ R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲機を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数：0件	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数：0件	◎
21 読谷村	1 ③	ヨミタンJOHO発信事業（読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業）	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	メール受信件数：1281件	メール受信件数：894件	○
21 読谷村	1 ④	読谷に一びち観光客誘致プロジェクト事業	H29 ～ R3	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	リゾートウェディング数 2,633組	リゾートウェディング数 2,092組	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
21 読谷村	1 ⑤	世界遺産座喜味城跡活用事業	H25 ～ R3	座喜味城跡が世界遺産登録20周年を迎えることから、座喜味城跡のライトアップを実施し、改めて座喜味城跡の魅力を発信していく。	ライトアップ期間中の入場者数11,000人以上	ライトアップ期間中の入場者数10,854人	○
21 読谷村	1 ⑥	川回る広場整備事業	H30 ～ R2	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	工事及び現場監理のR1年度分実施完了	工事及び現場監理のR1年度分の実施完了	◎
21 読谷村	1 ⑦	バス停上屋整備事業	H27 ～ R1	観光客等の利便性向上を図るため、都屋バス停上屋整備工事を行う。	バス停上屋整備工事の完了	-	繰
21 読谷村	2 ①	日本語教育支援員配置事業	H24 ～ R1	二重国籍や外国籍児童等、日本語を習得していない児童に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語教育支援員を配置する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合：100%	◎
21 読谷村	2 ②	小中学校学習支援員配置事業	H24 ～ R1	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力（算数・数学）の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ①小学校3年生算数 1.7ポイント以上 ②中学校1年生数学 -2.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ①小学校3年生算数 0.3ポイント ②中学校1年生数学 0.3ポイント	△
21 読谷村	2 ③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	特別支援教育支援員の支援により困難が改善されたと回答した割合：82%	◎
21 読谷村	2 ④	ICT機能強化事業（小学校デジタル教科書）	H27 ～ R1	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校にデジタル教科書を整備する。	児童へのアンケートで、デジタル教科書を活用した授業が分かりやすかったか（80%以上）を含め、デジタル教科書の活用のあり方について検証	児童へのアンケートで、デジタル教科書を活用した授業が分かりやすかったと回答した割合：92.5%	◎
21 読谷村	2 ⑤	小学校ICTパソコン教室機能強化事業	H30 ～ R1	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に学校教育用パソコンを整備する。	パソコン教室の利用実績が利用計画時数の80%以上	パソコン教室の利用実績が利用計画時数の87.9%	◎
21 読谷村	3 ①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ～ R1	これまでに構築した地歴型マップWebサイト・システムを機能拡充し、さらに連動される形で「デジタルアーカイブシステム」の構築を行う。	サイトアクセス数：2,000	サイトアクセス数：8,140件	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
21 読谷村	3 ②	沖縄語（しまくとぅば）保存継承事業	H25 ～ R3	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきた沖縄語の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語を調査、整理し、沖縄語に親しめる小冊子を製作する。	・沖縄語（しまくとぅば）パンフレットの発刊（1,000部） ・村内小中学校（7校）、自治会（24自治会）へ配布 ・教材の活用により、沖縄語の理解が深まったか（80%以上）を含め、沖縄語の保存継承のあり方をアンケート調査により検証する。	・沖縄語（しまくとぅば）パンフレットの発刊（1,000部） ・村内小中学校（7校）、自治会（24自治会）へ配布 ・沖縄語の保存継承のあり方をアンケート調査：未実施	△
21 読谷村	3 ③	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ～ R3	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性の確保を図るため、駐車場整備に向けた実施設計を行う。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
21 読谷村	4 ①	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	村内在住の中学生を英語圏へ短期間派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	・保護者アンケート 帰国後、国際的な視野が広まったと回答した割合80%	保護者へのアンケートで帰国後、国際的な視野が広まったと回答した割合：90%	◎
21 読谷村	5 ①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R3	1978年に策定した「ヤチムンの邑（むら）」基本構想に基づき、本村の伝統工芸の持続的発展を図るため、県外におけるマーケティング及びプロモーション活動を実施し、販路拡大並びに人材育成に取り組む。	・陶器市の来場者数 14,338人	・陶器市の来場者数 14,486人	◎
21 読谷村	6 ①	低炭素社会構築事業	H30 ～ R2	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に切替、温室効果ガス（CO2）の排出を抑制する。	・R1年度分防犯灯等のLED切替工事の完了	・R1年度分防犯灯等のLED切替工事の完了	◎
21 読谷村	7 ①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ～ R3	読谷補助飛行場跡地（大木地区）の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	崖地対策実施設計完了	崖地対策実施設計完了	◎
22 嘉手納町	1 ①	うたの日コンサート事業	H25 ～ R1	観光誘客を図るため、音楽イベント「うたの日コンサート」の開催に係る経費の一部を支援する。	来場者数：7,840人以上	来場者数：8,000人	◎
22 嘉手納町	1 ②	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充（展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等）を行う。	外構工事の完了	外構工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
22 嘉手納町	1 ③	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・ 進入路、通路の整備工事の完了	・ 進入路、通路の整備工事の完了	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差  小学校：-4.8ポイント以上 中学校：-7.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差  小学校：0ポイント 中学校：-2.2ポイント	◎
22 嘉手納町	2 ②	英語力強化事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員（中学校のみ）を配置し、小学生が英語に親しむ環境の創出及び中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。  (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合：8.0%以上  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率（英語）の差-5.1ポイント以上	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する：73%  (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合：16.3%  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率（英語）の差：+11.1ポイント	○
22 嘉手納町	2 ③	ICT活用事業	H24 ～ R3	教員のICT機器活用に関する習熟度の向上及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT指導員を配置し、教員及び児童生徒の情報機器操作能力向上及びICT機器の授業への活用に向けた支援を行う。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより効果を検証する。  教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより効果を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより効果を検証する：88%  教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合（80%以上）を含め、アンケートにより効果を検証する：60%	○
22 嘉手納町	2 ④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	生徒の不登校改善を図るため、中学校へ生徒指導支援員を配置し、生徒への支援を行う。	不登校生徒復帰率：25%以上	不登校生徒復帰率：16%	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
22 嘉手納町	2 ⑥	秋田交流学習体験事業	H26 ～ R1	小中学校における授業環境の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市に派遣し、児童生徒には学習規律を、教師には指導方法や授業づくりの手法を学ばせる。また、大館市の教師を招聘し、本町の教師を対象とした研修を行う。	①（派遣された児童生徒へのアンケート） ・学習規律を学ぶことができたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ②（研修会や報告会を受けた教師へのアンケート） ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①（派遣された児童生徒へのアンケート） ・学習規律を学ぶことができたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する：100% ②（研修会や報告会を受けた教師へのアンケート） ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する：93%	◎
22 嘉手納町	2 ⑦	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員（教育サポーター、介助員）を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する：92%	◎
22 嘉手納町	2 ⑧	『嘉手納町の歴史と文化』刊行事業	R1	嘉手納町の歴史文化の継承を図るため、本町の歴史と文化をまとめた副読本を刊行、小中学校に配布し、社会科の授業や総合的な学習の時間で活用する。	児童生徒に対するアンケートを実施し、町の歴史文化への理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	児童生徒に対するアンケートを実施し、町の歴史文化への理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する：未実施	未
22 嘉手納町	3 ①	雇用促進事業	H25 ～ R1	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就職活動の支援を行う。	①相談者及び受講者のうち、就職が決まった人数：11人以上 ②相談者及び受講者の内、就職が決まった人数の割合：5.5%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった（内定を得た）人数。支援後の後追い調査で（年2回）で確認。	①相談者及び受講者のうち、就職が決まった人数：7人 ②相談者及び受講者の内、就職が決まった人数の割合：2.3%	未
22 嘉手納町	4 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の再資源化（チップ化後の重量） 656 t 以上/年	草木の再資源化（チップ化後の重量） 631 t 以上/年	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
22 嘉手納町	5 ①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R3	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果  ○嘉手納中学校屋内運動場 2,290kg-CO2/年の削減  ○兼久海浜公園ソフトボール場 5,410kg-CO2/年の削減	R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果  ○嘉手納中学校屋内運動場 2,290kg-CO2/年の削減  ○兼久海浜公園ソフトボール場 5,410kg-CO2/年の削減	◎
22 嘉手納町	6 ①	食育まんが啓発推進事業	H29 ～ R1	町民の食生活に対する意識の向上を図るため、食育を題材とした漫画を制作、配布し、健康的な食生活の情報を周知する。	食生活の改善に対する意識が向上したか（87%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	食生活の改善に対する意識が向上したか（87%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証：99%	◎
22 嘉手納町	7 ①	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ～ R1	災害時の町内避難者や観光客等の安全確保を図るため、非常食料及び生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の導入を行う。	町内避難者及び観光客等の備蓄完了。	町内避難者及び観光客等の備蓄完了。	◎
22 嘉手納町	7 ②	防災啓発事業	R1	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、ハザードマップや避難場所の情報を掲載した防災マップを作成し、住民及び観光客等に配布する。	防災マップ等の配布及び地図システムの構築完了	防災マップ等の配布及び地図システムの構築完了	◎
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。また、本町を訪れた外国人観光客の利便性向上を図るため、多言語対応職員の配置、多言語観光情報パンフレットの製作等を実施する。	・観光情報センター利用者数76,760人以上（うち外国人利用者数55,332人以上）  ・外国人観光客の大多数が利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・観光情報センター利用者数63,665人（うち外国人利用者数37,508人）  ・アンケートで外国人観光客の大多数が利便性が確保されたとの回答 82%	○
23 北谷町	1 ②	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行い自走化を目指す。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。  ・収支率10%以上を目指す。	・アンケートでバス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたとの回答 59.2%  ・収支率 8%	○
23 北谷町	1 ③	西海岸歩行者ネットワーク整備事業	H24 ～ R1	観光客や町民が本町西海岸の観光スポット等を散策出来るよう、遊歩道を整備する。	歩道新設工事の完了。	歩道新設工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
23 北谷町	1 ④	アラハビーチ周辺魅力向上事業	R1	北谷町の観光名所の一つである安良波公園の機能強化を行い、魅力度向上を図る。	インディアンオーク号改良及び周辺整備工事の施工完了。	-	繰
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24～R3	小学校の児童生徒の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手（AET）を配置する。（隣接する幼稚園兼務） 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を派遣する。	小学校：児童の英語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校：沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差△0.3ポイント以上	アンケートで小学校：児童の英語への興味・関心が高まったとの回答 73.2% 中学校：沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差3.4ポイント	○
23 北谷町	2 ②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25～R3	日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合（80%以上）等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合 82%	◎
23 北谷町	2 ③	学力向上学習支援員派遣事業	H26～R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名（計6名）配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 △0.7ポイント以上 中学校 △1.1ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 1.4ポイント 中学校 1.4ポイント	◎
23 北谷町	2 ④	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26～R3	児童生徒の問題行動（暴力、喫煙、家出等）の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	・町立小中学校の問題行動（暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出）の件数 小学校 8件以内 中学校 18件以内 ・スクールソーシャルワーカーの研修や助言により問題行動等に的確に対応でき再発防止等に役に立った（80%以上）を含め、対象となる教諭にアンケートを実施し、本事業の在り方を検証する。	・町立小中学校の問題行動（暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出）の件数 小学校 22件 中学校 6件 ・対象となる教諭にアンケートでスクールソーシャルワーカーの研修や助言により問題行動等に的確に対応でき再発防止等に役に立ったとの回答 82.5%	△
23 北谷町	2 ⑤	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25～R3	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合 100%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「緑」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
23 北谷町	3 ①	跡地利用推進事業	H24 ～ R3	今後返還が予定される駐留軍用地の返還後、速やかに事業着手ができるよう、跡地利用推進調査及び勉強会等を実施し、跡地利用計画を策定する。	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・跡地利用基本計画の策定の完了  (キャンプ桑江南側地区) ・庁内調整及び有識者ヒアリングなどを踏まえ、知の拠点における導入機能の精査を行い、概略整備効果の検証を行う。	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・跡地利用基本計画の策定の完了  (キャンプ桑江南側地区) ・庁内調整及び有識者ヒアリングなどを踏まえ、知の拠点における導入機能の精査を行い、概略整備効果の検証は未実施	△
23 北谷町	4 ①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 14,166㎡（達成率約78%） ※達成率：先行取得目標面積（86,000㎡）に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得目標 達成率76%	○
24 北中城村	1 ①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	・体験交流人数：500人以上	・体験交流人数：607人	◎
24 北中城村	1 ②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・青年エイサーまつり来場者数：7,000人 ・北中城しおさいまつり来場者数：24,000人 ・ひまわりin北中城来場者数：52,100人	・青年エイサーまつり来場者数：6,250人 ・北中城しおさいまつり来場者数：17,570人 ・ひまわりin北中城来場者数：中止	未
24 北中城村	1 ③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、多言語による観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施する。	・村内観光入込客数：699万人以上	・村内観光入込客数：16.6万人	未
24 北中城村	1 ④	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の進入路整備を行う。	・公営墓地進入路整備の完了	-	緑
24 北中城村	1 ⑤	ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ～ R1	本村の魅力を伝えられるような景観形成を図るため、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・交流スペースの整備完了	・交流スペースの整備完了	◎
24 北中城村	1 ⑥	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ周遊バスの実証実験を実施する。	・観光周遊バス利用者数：10,800人	・観光周遊バス利用者数：2,345人	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
24 北中城村	1 ⑦	観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにビッグデータの分析を行う。	・ 村内観光入込客数：699万人以上	・ 村内観光入込客数：16.6万人	未
24 北中城村	1 ⑧	リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ R3	沖縄県木であるリュウキュウマツを保全するため、すでに枯れた松くい虫被害木の伐倒処分を実施する。	・ 予防達成率：90%以上	・ 予防達成率：89.3%以上	○
24 北中城村	2 ①	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ R2	駐留軍用地の返還から跡地開発までの一連の流れを後世に伝えるため、アワセゴルフ場跡地の返還合意から跡地利用までの映像による記録及び編集を行う。	・ 全体の記録映像の作成進捗率：89%	・ 全体の記録映像の作成進捗率：89%	◎
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・ 全体用地取得率：83.6%	・ 全体用地取得率：83.6%	◎
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援を行うことで雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・ 失業者のマッチング：15人	・ 失業者のマッチング：7人	未
24 北中城村	3 ②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム、校内ハローワーク等を実施する。	・ 就業に対する意識が向上したか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・ 就業に対する意識が向上したか：92%	◎
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員による指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備支援を行う。	・ 指導した農家の年間出荷額：3,790千円以上 ・ パイプハウス整備完了2基	・ 指導した農家の年間出荷額：3,415千円 ・ パイプハウス整備完了2基	○
24 北中城村	4 ②	地域ブランド構築事業	H24 ～ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	・ 特産品年間販売額 ①アーサクッキー：120千円以上 ②アーサ麺：1,100千円以上 ③パッションスイーツ：8千円以上 ④トロピカルブレンドティー：14千円以上 ⑤パッションフルーツスカッシュ：20千円以上 ⑥パッションフルーツタコライスソース：63千円以上	・ 特産品年間販売額 ①アーサクッキー：120千円 ②アーサ麺：130千円 ③パッションスイーツ：347千円 ④トロピカルブレンドティー：製造中止 ⑤パッションフルーツスカッシュ：37千円 ⑥パッションフルーツタコライスソース：54千円	△

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
24 北中城村	4 ③	農を活かした北中城活性化事業	H28 ～ R2	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品（試作品）のテスト販売等を行うことで、市場性等の検証を行う。また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化実証に向けた基本設計及び実施計画を策定する。	・水耕栽培実証実験の完了 ・6次産業化商品（試作品）のテスト販売：3品 ・エネルギー化、堆肥化に係る施設等の製作に資する仕様・基本設計の策定 ・設備稼働に向けた実施計画の策定	・水耕栽培実証実験の完了 ・6次産業化商品（試作品）のテスト販売：3品 ・エネルギー化、堆肥化に係る施設等の製作に資する仕様・基本設計の策定 ・設備稼働に向けた実施計画の策定	◎
24 北中城村	4 ④	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R2	農を活かした「食」「福祉」「交流」「環境」に関する施設を整備するため、事業化計画の策定を行う。	・事業化計画の策定	・事業化計画の策定完了	◎
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	・英語検定の受検者数：543人	・英語検定の受検者数：420人	○
24 北中城村	5 ②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した、小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	・定期テストにおける英語習熟度：講座を受けた生徒全員80点以上	前期：21名中7名 後期：23名中19名	未
24 北中城村	5 ③	海外子弟青年交流事業	H24 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南米3カ国（ペルー、アルゼンチン、ブラジル）から研修生の受入れを実施する。	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか：100%	◎
24 北中城村	6 ①	琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ R3	村の歴史文化に関する情報を広く発信するため、歴史風致資産や伝統的な民俗祭祀行事について、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を行い、資料集・報告書の作成を実施する。	・公開用動画記録の完成 ・歴史風致資産調査のとりまとめ：80%	・公開用動画記録の完成：96% ・歴史風致資産調査のとりまとめ：93%	○
24 北中城村	7 ①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒について、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村立幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育支援員を配置する。	・支援員に対する満足度（80%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・支援員に対する満足度：92.6%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
24 北中城村	7 ②	学習支援員配置事業	H27 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生：算数（18.5%以下） 中学2年生：数学（37.6%以下） ・無答率 小学5年生：算数（6.8%以下） 中学2年生：数学（10.5%以下）	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生：算数（15.0%） 中学2年生：数学（23.1%） ・無答率 小学5年生：算数（6.5%） 中学2年生：数学（9.8%）	◎
24 北中城村	7 ③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、児童生徒の視野を広げるため、学校教育の一環として派遣される大会等に対し派遣費用を補助する。	・派遣された児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・視野が広がったか：95.1%	◎
24 北中城村	7 ④	小中学生県外派遣（社会教育関連）事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	・派遣された子ども達の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・視野が広がったか：100%	◎
24 北中城村	8 ①	健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ R3	村民の健康課題にアプローチし、多くの村民に運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	・健康イベントへの総参加者数：430人以上	・健康イベントへの総参加者数：689人	◎
25 中城村	1 ①	防災体制整備事業	H26 ～ R1	災害時における住民及び観光客の安全を確保するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に必要となる生活物資や備蓄品等の整備を行う。	防災マットの備蓄完了 照明機器の整備完了	防災マットの備蓄完了 照明機器の整備完了	◎
25 中城村	1 ②	災害時避難所給電システム導入事業	R1	CO2排出量の削減を図るため、また、災害時の住民及び観光客等の避難所における安心安全の確保を図るため、災害発生時に避難所への電力供給も可能な電気自動車及び機器を整備する。	電気自動車の整備完了 給電機器の整備完了	電気自動車の整備完了 給電機器の整備完了	◎
25 中城村	1 ③	省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため公共施設等の照明器具にLEDを導入する。	工事の完了	工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
25 中城村	2 ①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数：2件 ②整備の完了 ③整備の完了 ④整備の完了	①プロサッカーチームの合宿誘致件数：2件 ②テニスコート機能強化整備の完了 ③吉の浦会館トイレ機能強化整備の完了 ④吉の浦体育館照明をLEDに整備の完了	◎
25 中城村	2 ②	観光客誘客促進事業	H25 ～ R3	地域の伝統芸能の継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクトマップ」及び「中城村護佐丸まつり」イベントの開催に係る運営費を開催する。	○イベント来場者数 プロジェクトマップ9,300人以上 護佐丸まつり9,500人以上 ○伝統芸能団体出演者数 プロジェクトマップ35人以上 護佐丸まつり155人以上	○イベント来場者数 プロジェクトマップ6,675人 護佐丸まつり4,820人 ○伝統芸能団体出演者数 プロジェクトマップ38人 護佐丸まつり161人	○
25 中城村	2 ③	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・キャンプ見学者数：9360人以上	・キャンプ見学者数：8,023人	○
25 中城村	2 ④	中城城跡受入基盤機能強化整備事業	H29 ～ R1	中城城跡馬場広場は降雨による冠水が多発し、来訪者の往来に支障が生じることがある。来訪者の利便性を確保するため、広場の排水性を高めるための工事を行う。	・排水性を高めるための工事の実施完了	・排水性を高めるための工事の実施完了	◎
25 中城村	2 ⑤	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客等を対象としたアンケートで魅力的な観光地としての景観となっているとの回答 81%	◎
25 中城村	2 ⑥	歴史の道整備事業	H27 ～ R1	観光客等の安全確保を図るため、歴史の道の一部であるフクビリ橋の機能強化整備を行う。	フクビリ橋整備工事の完了	フクビリ橋整備工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合：80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：84% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合：85% 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証した。	◎
25 中城村	4 ②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行う。 また、不登校など課題のある児童生徒の不登校の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。	①特別支援員の対応への満足度（70%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率57%以上	①保護者へのアンケートで特別支援員の対応への満足度 79% ②不登校児童生徒復帰率 56%	○
25 中城村	4 ③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R3	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	沖縄県学力到達度調査（数学）において、県と本村との平均正答率の差-4.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査（数学）において、県と本村との平均正答率の差-8.6ポイント	未
25 中城村	4 ④	子育て保育支援事業	H29 ～ R3	特別な支援を要する子の保育園での生活の困難の改善を図るため、対象児を預かる保育園による保育士の加配に対する支援を行う。	・保育園での生活の困難が改善されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・保護者へのアンケート保育園での生活の困難が改善されたとの回答 91%	◎
25 中城村	4 ⑤	ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ R3	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか（80%以上）を含め、ひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	ひとり親家庭の保護者へのアンケートで安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたとの回答 100%	◎
25 中城村	5 ①	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ～ R3	本村の歴史文化の継承を図るため、村内に所在する文化財等の調査・把握及び沖縄戦に関する記録保存を行い、出版物として刊行する。また、これまでに整理した資料を活用し、村民等を対象とした展示会を行う。	調査した内容を活用した企画展示会の来場者数：1,000人以上	調査した内容を活用した企画展示会の来場者数：1,297人	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
25 中城村	5 ②	村内文化財整備事業	H28 ～ R1	本村の歴史文化の継承を図るため、村指定文化財（史跡）「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替えを行う。	「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替え完了	「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替え完了	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興ビジョン策定事業	H30 ～ R1	本村の農業振興を図るため、本村が目指す農業振興の将来像や目標、施策展開の基本方針を定めた農業振興ビジョンを策定する。	農業振興ビジョンの策定完了	農業振興ビジョンの策定完了	◎
25 中城村	6 ②	中城村農業振興環境整備事業	H30 ～ R3	本村で伝統的に栽培されている農作物の生産量の増加を図るため、栽培技術及び品質向上に向けた種苗の選抜や栽培方法の検討、試験栽培を行う。また、技術確立後は農家に対して技術の普及を行う。	栽培試験の実施（2品目）	栽培試験の実施（2品目）	◎
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成を図られたと回答した割合：77%	○
26 西原町	1 ②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数120名以上	文化財巡り等イベント参加者数104名	○
26 西原町	1 ③	農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H24 ～ R2	農水産物販売機能やレストラン機能などを併せ持つ施設を整備し、地元農水産物の消費の拡大などを図る。	新築2期工事及び工事監理委託業務等の完了	-	繰
26 西原町	1 ④	西原まつり運営事業	R1	まつりを通して地域産業・芸能・文化の振興を図り、県内外からの誘客に繋げて地域活性化に資するため、西原まつりを開催する。	まつり来場者数 37,000人	まつり来場者数 32,200人	○
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R3	外国語活動指導員を派遣し、外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったかについて肯定的な：83%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
26 西原町	2 ②	教育相談員配置事業	H24 ～ R3	町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 35.71%	◎
26 西原町	2 ③	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +2.5以上 算数 +4.0以上 ・中学校 国語 -0.8以内 数学 +1.0以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +4.25 算数 +3.65 ・中学校 国語 +1.00 数学 +4.75	○
26 西原町	2 ④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善がみられた児童数を30%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善がみられた児童数：75.4%	◎
26 西原町	2 ⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度：98.92%	◎
26 西原町	3 ①	親子通園事業	H28 ～ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたかについて肯定的な回答：100%	◎
26 西原町	4 ①	西原町防犯灯・道路灯LED化事業	H29 ～ R2	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出の抑制を図る。	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値：33,206kg-CO2	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値：99,740kg-CO2	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
26 西原町	5 ①	農家経営安定支援事業	H26 ～ R3	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置し、既存農家へ個別による営農指導及び、町役場にて農家や農業就農を検討されている方々へ園芸セミナーを開催することで、栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに農業後継者の育成を図る。	・巡回指導した農家へのアンケート栽培技術力が向上したか（80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート栽培技術への理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	・巡回指導した農家へのアンケート栽培技術力が向上したかについて肯定的な回答：80% ・園芸セミナー参加者へのアンケート栽培技術への理解が深まったかについて肯定的な回答：83%	◎
26 西原町	6 ①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	確定測量の完了 表示登記申請の完了	◎
26 西原町	7 ①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合40%以上	新規雇用割合53%	◎
26 西原町	7 ②	地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ R3	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上（85%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上について肯定的な回答：100% ・郷土愛の醸成についてアンケートで、肯定的な評価：100%	◎
27 与那原町	1 ①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳まつりへの24,000人誘客（平成29年度実績23,109人） ・与那原大綱曳まつりの満足度（ぜひ次も参加したい人の割合）70% ・その他の事業で4,000人誘客	・与那原大綱曳まつりの誘客 68,000人 ・与那原大綱曳まつりの満足度 72% ・その他の事業で誘客 0人（イベント等の中止による）	△

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
27 与那原町	1 ②	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境を整え観光振興を図る。	・本事業（剪定・除草・植栽整備等）による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、「観光地としてふさわしい景観及び環境である」（80%）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・本事業（剪定・除草・植栽整備等）による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、魅力的であると感じている割合 96.39%	◎
27 与那原町	2 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (小学校・中学校)	H24 ～ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県との差0.3ポイント以上を目指す 中学校：県との差2.3ポイント以上を目指す ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・本事業について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援教育支援員の対応への満足度」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県との差 -1.2ポイント 中学校：県との差 -0.4ポイント ・不登校児童生徒復帰率 8.9% 対象となる児童生徒の保護者へアンケートを実施し、「特別支援教育支援員の対応への満足度」の割合 97.8%	△
27 与那原町	2 ②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R3	英語教育への意欲を持たせ、国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手の配置及び英語指導講師を派遣する。	・本事業について、児童生徒へのアンケート調査を実施し、「外国語への興味・関心が高まったか」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	児童生徒へのアンケート調査を実施し、「外国語への興味・関心が高まったか」の割合 60.4%	未
27 与那原町	2 ③	豊かな心の教育推進事業	H30 ～ R3	児童生徒の創造力や表現力などの豊かな感性や、自主性、柔軟性などの豊かな心を育むために、各分野において優れた功績を収めた人や第一人者等による児童生徒向けの講演会を実施する。	・本事業について、児童生徒へのアンケート調査を実施し、「将来への夢や希望を持つきっかけになったか」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	児童生徒へのアンケート調査を実施し、「将来への夢や希望を持つきっかけになったか」の割合 82.67%	◎
27 与那原町	2 ④	体力向上推進事業	H30 ～ R3	児童の基礎的な体力の向上や、たくましい体の育成のために水泳指導員の派遣を行う。	・3年生：水に浮くことができる 50%以上 ・4年生：25メートル泳ぐことができる 30%以上	・3年生：水に浮くことができる 94.2% ・4年生：25メートル泳ぐことができる 34.2%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
27 与那原町	2 ⑤	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ICT教育の環境を整備し、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上」を含めアンケートにより本事業のあり方について検証する。 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、「ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合80%以上」を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 95.1% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合 100%	◎
27 与那原町	3 ①	ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を配置する認可保育所へ経費の一部を助成する。（月額50,000円を上限に助成する。）	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人	◎
27 与那原町	3 ②	公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H28 ～ R3	公立幼稚園の給食提供に伴い、安心安全に給食が提供できるよう、配膳支援員を配置する。また、食育による家庭における保護者の軽減を図る。	・本事業について、保護者へのアンケート調査を実施し、「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・保護者へのアンケート調査を実施し、「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」の割合 79%	○
27 与那原町	3 ③	きめ細かな児童生徒支援事業（幼稚園）	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行う為の特別支援教育支援員を配置する。	・本事業について、対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 100%	◎
27 与那原町	4 ①	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R3	沖縄県では、毎年のように台風が襲来し、農作物に大きな被害を与えている。そのため、台風被害を軽減し、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入するための経費に対して補助を行う。	被覆資材の導入により台風等の自然災害、病害虫等の被害を軽減することにより、被覆資材を導入した施設からの出荷量を向上させる。目標として、過去2年の出荷量の平均値より上回る数値を設定。 ゴーヤー出荷量 2,562kg以上 マンゴー出荷量 4,695kg以上	ゴーヤー出荷量 888kg マンゴー出荷量 4,182kg	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
27 与那原町	5 ①	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R3	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・与那原町における交流会でのアンケート：国際交流に関心がある人の割合：92% ・帰国後の研修報告会でのアンケート：沖縄・与那原に関心がある人の割合：100% (PR大使としての活動の実施)	・与那原町における交流会でのアンケート：国際交流に関心がある人の割合：94% ・帰国後の研修報告会でのアンケート：沖縄・与那原に関心がある人の割合：100%	◎
27 与那原町	6 ①	走る・よなばる・PR事業	H29 ～ R1	本町の観光資源・産業を町内外へアピールし認知度の向上とその振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車等オリジナル標識を交付する。また、従来標識には無い反射塗料（シート）も採用し、交付促進を図る。	・本事業について、観光客と地域住民へのアンケート調査を実施し、「与那原町の認知度」（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	イベント会場において観光客と地域住民へのアンケートを実施し、オリジナル標識での与那原町の認知度の割合 69%	○
27 与那原町	7 ①	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ R2	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	避難者988人（推計※乳幼児含む）の救援物資が届くとされるまでの期間（三日間）の食料1日2回、三日分7,400食及び水4,632本の内6,220食、3,864本（H30累計）を整備する。	一時避難者備蓄食料カバー率 R1年度備蓄食糧カバー率80% 備蓄食料 1,160食	△
27 与那原町	8 ①	親川拝所整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	・親川拝所整備実施設計業務（外構・土木）・管理棟基本設計業務の完了 ・親川拝所整備に係る物件調査業務の完了 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務の完了 ・親川拝所整備に係る事業認定申請図書等作成業務の完了	-	繰
27 与那原町	9 ①	与那原町健康づくり支援環境整備事業	H29 ～ R3	健康な体をつくり、健康・長寿を達成するために、与那古浜公園内の施設整備を行う。	・施設の一部供用開始 (トラック内にゴムチップウレタン舗装などの完成)	・施設の一部供用開始 (トラック内にゴムチップウレタン舗装などの完成)	◎
27 与那原町	10 ①	新しい公共交通検討事業	R1 ～ R2	高齢者や障がい者の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握 (令和2年度まで事業実施予定)	需要や課題等の実態把握の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
27 与那原町	11 ①	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R3	運玉森での学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保する。	基本計画の策定	基本設計の策定完了	◎
28 南風原町	1 1	青少年国際交流事業	H24 ～ R3	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったかについて肯定的な回答92%	◎
28 南風原町	1 2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いたいと思ったか（80%以上）を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いたいと思ったかについて肯定的な回答78%	○
28 南風原町	1 3	学力調査等事業	H24 ～ R3	個々の学力の把握及び個々の実態に即した指導を実施し、児童生徒のさらなる学力向上につなげるため、学力調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校：13科目/13科目 中学校：1科目以上/10科目</li> <li>県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校：全科目/7科目 中学校：全科目/6科目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校：12科目/13科目 中学校：2科目/10科目</li> <li>県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校：6科目/7科目 中学校：全科目/6科目</li> </ul>	○
28 南風原町	1 4	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業ではついていけない児童生徒の学力向上に努めるため、小・中学校に学習支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校：4科目/4科目 中学校：1科目以上/8科目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校：4科目/4科目 中学校：1科目/8科目</li> </ul>	◎
28 南風原町	1 5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度87.5%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合：80%以上  ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合：89.37%  ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：74.86%	○
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、教育相談員などを小中学校に配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒や、不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	不登校児童生徒復帰率60%	不登校児童生徒復帰率22.4%	未
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年：-1.9ポイント以内 2年：-13.8ポイント以内	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年：+0.3ポイント 2年：-14.4ポイント	△
28 南風原町	1 9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	対象児童等の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童等の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったかについて肯定的な回答100%	◎
28 南風原町	1 10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との交流等の機会を増やし、児童生徒及び青年会等に広い視野を持たせるため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が、体育協会関連団体の主催する運動競技及び文化活動に参加する際の大会等の派遣費用を支援する。	対象児童等の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったかについて肯定的な回答83%	◎
28 南風原町	1 11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後に運動習慣を身に付けるため、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	運動する楽しさを実感したかについて肯定的な回答96.16%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
28 南風原町	1 12	幼稚園空調機設置事業	H30 ～ R1	気温が高い期間が長期にわたる沖縄で園児の健康維持や熱中症対策をおこなう必要があるため、幼稚園に冷房機を設置する。	冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	◎
28 南風原町	2 1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の番所跡に植樹されているフクギ並木の整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答80%	◎
28 南風原町	2 2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町へ誘導するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント（上映会、凧上げ、金城哲夫展等）来客者数：3,200人	・イベント（上映会、凧上げ、金城哲夫展等）来客者数：1,063人	未
28 南風原町	2 3	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出すると共に観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド事業参加者：1,700人	シマじまガイド事業参加者：882人	未
28 南風原町	2 4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数：1,500人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数：10,000人	・陸上、サッカー等合宿利用者数：663人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数：6,070人	未
28 南風原町	2 5	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び認証した商品の販売数増を図るため、町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催や、「はえばる良品」認証及び、特産品の販路開拓等を行う。	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン5,456個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ429個 1,058個 渡しカボチャ使って味わうスープの素 はえばるのまきもの63個 ウォッチナー105個 SANGOくっしょん630個 沖縄キビまる豚420個	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン4,272個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ450個 2,000個 渡しカボチャ使って味わうスープの素 はえばるのまきもの90個 ウォッチナー110個 SANGOくっしょん640個 沖縄キビまる豚1,200個	○
28 南風原町	2 6	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえるんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数：50件 ・観光サイトアクセス数：207,500件	・はえるん等利用数：27件 ・観光サイトアクセス数：141,297件	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
28 南風原町	2 7	南風原南インターチェンジ周辺土地利用計画策定事業	R1 ～ R2	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画書を策定する。	南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書策定完了。	南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書策定完了。	◎
28 南風原町	3 1	はえばるリサイクルループ事業	H24 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減するため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥を生産する。そこで生産された飼料ではえばる豚を育て販売し、食品廃棄物の循環を構築する。	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：30トン	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：29トン	○
28 南風原町	3 2	草木リサイクル事業	H24 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築するため、町内から排出される草木を細かく破砕し堆肥化する。	・家庭系草木のリサイクル量（堆肥化）：427トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量（堆肥化）：45トン	・家庭系草木のリサイクル量（堆肥化）：477トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量（堆肥化）：44トン	○
28 南風原町	3 3	環境保全3R推進事業	R1 ～ R3	本町の一般世帯から回収された資源ごみ（古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着）の分別作業を実施しリサイクルすることで、環境負荷の少ない循環型社会を形成する。	資源ごみ（古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着）の収集分別量 284トン 廃食油の収集分別量 9,720リットル	資源ごみ（古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着）の収集分別量 329トン 廃食油の収集分別量 9,640リットル	○
28 南風原町	4 1	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ R3	災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	避難所整備の完了	避難所整備の完了	◎
28 南風原町	5 1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたかについて肯定的な回答98%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
28 南風原町	5 2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか（80%以上）を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか（80%以上）を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したかについて肯定的な回答88% ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたかについて肯定的な回答86%	◎
28 南風原町	6 1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R3	南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。	見学者数11,500人	見学者数9,028人	○
28 南風原町	6 2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	参加児童の平和等に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する	参加児童の平和等に対する理解が深まったかについて肯定的な回答100%	◎
28 南風原町	7 1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたかについて肯定的な回答96.3%	◎
29 渡嘉敷村	1 ①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R3	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	①年間入域観光客数 150,000人以上 ②外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①年間入域観光客数 131,379人 ②外国人観光客を対象にアンケートを実施し、利便性が確保されているかの割合0%	未
29 渡嘉敷村	1 ②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたかの割合92%	◎
29 渡嘉敷村	1 ⑤	渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ～ R1	渡嘉敷村の豊かな景観資源や文化を維持・継承・発展させる条件を整え、良好な景観形成に向けた景観計画を策定する。	・景観計画策定の完了	景観計画策定の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
29 渡嘉敷村	1 ⑥	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R3	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故0件	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故1件	未
29 渡嘉敷村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	島民へアンケートを実施し、運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているかの割合：99%	◎
29 渡嘉敷村	2 ②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	利用者へアンケートを実施し、ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたかの割合100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.3ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率 3.1ポイント	未
29 渡嘉敷村	3 ②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	校外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、船賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒の視野が広がったかどうか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	児童生徒の保護者へアンケートを実施し、児童生徒の視野が広がったかどうかの割合 94%	◎
29 渡嘉敷村	3 ③	家庭教育支援事業	H28 ～ R3	学外でも学びたい児童生徒の学習機会を確保し、学力向上につなげるため、小学5年生～中学3年生を対象にWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業による学習塾を実施する。	学習塾内で実施するテスト（全国規模）において、全国と本村との平均点の差を-11.7点以上とする。	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本村との平均点の差を -14.9点	未
29 渡嘉敷村	4 ①	歴史文化資産保存活用事業	H29 ～ R1	歴史文化の継承及び観光誘客を図るため、村内に現存する文化財・遺跡等の位置や現況の把握及び沖縄戦に関わる史実の聞き取り調査を行い、資料として作成・整理する。また、これらの資料を平和学習等に活用する。	・文化財遺跡等の実地調査 完了 ・沖縄戦に関する聞き取り調査 完了 ・ガイドブックの作成完了	・文化財遺跡等の実地調査 完了 ・沖縄戦に関する聞き取り調査 完了 ・ガイドブックの作成完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
29 渡嘉敷村	5 ①	渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29 ～ R1	総合的な防災体制を強化し、災害発生時に村民及び観光客等の安全確保を図るため、防災・災害対応関連情報の整理・公開及び防災体制強化に向けた各種計画等の整備を行う。	・地域防災計画の更新完了 ・業務継続計画の策定完了	・地域防災計画の更新完了 ・業務継続計画の策定完了	◎
30 座間味村	1 ①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R3	村内指定の3ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー員等を配置する	ライフセーバー配備期間中の死亡事故：0件	ライフセーバー配備期間中の死亡事故：0件	◎
30 座間味村	1 ②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	・観光関連イベント参加者数：9,017人以上 ・入域観光客数：112,000人以上	・観光関連イベント参加者数：15,790人 ・入域観光客数：99,100人	○
30 座間味村	1 ③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光客を対象に、利便性が確保されていると感じるか（80%以上）を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか（80%以上）を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ・入域観光客数：112,000人以上/年	・観光客を対象に、利便性が確保されていると感じるかについて肯定的な回答89.9% ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたかについて肯定的な回答95% ・入域観光客数：99,110人/年	○
30 座間味村	1 ④	座間味村景観計画策定事業	H29 ～ R1	文化の継承及び魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観計画を策定する。	景観計画の策定完了	景観計画の策定完了	◎
30 座間味村	1 ⑤	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ～ R1	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、観光客の受入機能、村の魅力を発信する展示機能、交流スペース機能を有する複合施設を整備する。本年度はシアタードーム設備工事を行う。	シアタードーム設備工事の完了	-	繰
30 座間味村	1 ⑥	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や石碑等の周辺環境整備を行う。	戦跡等の周辺環境整備の完了	-	繰

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
30 座間味村	1 ⑧	座間味村ウエルカム・パーク整備事業	R1 ～ R2	座間味港背後地において、環境省による博物館施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウエルカム・パーク」を整備する。	・既存施設の解体 ・座間味村ウエルカム・パーク基本設計	・既存施設の解体 ・座間味村ウエルカム・パーク基本設計策定	◎
30 座間味村	1 ⑨	座間味村観光イベント施設整備事業	R1 ～ R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	・野外ステージの基本計画・実施設計の策定	・野外ステージの基本計画・実施設計の策定	◎
30 座間味村	2 ①	座間味村サンゴ（海の花）育成・植付事業	H24 ～ R3	サンゴの保全・再生を図るため、座間味村漁業協同組合が実施するサンゴの育成・保全の取組に対して補助を行う。	種苗の植付：800本以上/年	種苗の植付：未実施	未
30 座間味村	3 ①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R3	定期船欠航自答の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたかについて肯定的な回答100%	◎
30 座間味村	3 ②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているかについて肯定的な回答73.3%	○
30 座間味村	4 ①	座間味村外来植物討伐事業	H24 ～ R3	伝統的な景観の保全・再生を通して、魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内に生息している外来植物の伐採・駆除を行う。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観となっているか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観となっているかについて肯定的な回答：未実施	未
30 座間味村	5 ①	座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ R2	本村の沖縄戦に関する歴史の継承及びこれらの歴史を活用した観光誘客を図るため、沖縄戦に関する資料や体験者証言等を整理し、平和学習等に活用する。	コンテンツの製作完了	コンテンツの製作完了（一部未実施）	○
31 粟国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケートで魅力的な観光地としての景観形成を図られたという回答 81%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
31 粟国村	1 ②	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R3	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	①粟国島芸能：演舞者：30人（むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー） ②イベント来場観光客数：126人（2日間）	①粟国島芸能：演舞者：37人（むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー） ②イベント来場観光客数：10人	△
31 粟国村	1 ③	照喜名原地区整備事業	H27 ～ R1	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区整備工事	-	繰
31 粟国村	2 ①	国際交流支援事業	H27 ～ R3	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	・帰国後、以下の点に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 派遣対象生徒へホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上 派遣対象生徒保護者へのアンケートで、国際的な広い視野がより広まったと感じた割合が80%以上 ・英語検定受検者の増加 平成30年度英検受検を生徒の75%が受検（平成29年12月現在 受検者19人 全生徒（27名）の70%が受検）	・帰国後、以下の点に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証した。 派遣対象生徒へホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合 66.6% 派遣対象生徒保護者へのアンケートで、国際的な広い視野がより広まったと感じた割合 100% ・英語検定受検者の増加 平成30年度英検受検を生徒の88.8%が受検	○
31 粟国村	2 ②	学力向上支援事業	H27 ～ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校：0ポイント以上 中学校：5ポイント以上	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校：1.3ポイント 中学校：-5.5ポイント	△
31 粟国村	2 ③	児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・児童生徒の保護者に対するアンケートで対象児童生徒の視野が広がったとの回答 97%	◎
31 粟国村	3 ①	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ R3	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	・アンケート調査でヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたとの回答 97%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
31 粟国村	4 ①	粟国村地域防災計画整備事業	H30 ～ R1	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、平成30年度に策定した「粟国村地域防災計画」を補完する「粟国村地域防災計画（来島者編）」（仮称）を策定する。	「粟国村地域防災計画（来島者編）」（仮称）の策定完了	「粟国村地域防災計画（来島者編）」（仮称）の策定完了	◎
32 渡名喜村	1 ①	環境保全・美化推進事業	H24 ～ R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたとの回答割合：79.6%	○
32 渡名喜村	2 ①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたとの回答割合：99%	◎
32 渡名喜村	3 ①	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ R3	村外での教育諸活動（スポーツ・文化）及び交流学习へ参加する児童生徒に対し、船運賃等の補助を行う。	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合：100%	◎
32 渡名喜村	4 ①	観光振興整備事業	H27 ～ R2	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	・トイレの整備工事 ・あがり浜東屋・植栽 ・安在良公園整備、転落防止柵の改修、水道管敷設工事	－	繰
32 渡名喜村	5 ①	渡名喜村旅客ターミナル整備事業	R1 ～ R2	旅客ターミナルを改築し、利用する観光客や村民の危険性除去・利便性向上を図るとともに、観光客誘致や情報提供の場として整備する。	・既存施設解体工事の完了 ・旅客ターミナル建築設計の完了	－	繰
32 渡名喜村	7 ①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ R2	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の実施	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の実施	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
33 南大東村	1 ①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。	集団検診受診率32%以上	集団検診受診率48.3%	◎
33 南大東村	1 ②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃がん及び乳がん（マンモグラフィ）検診受診者の渡航費を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率 100%	渡航費支援が必要な人への支援率 100%	◎
33 南大東村	1 ③	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅21.4ポイント以上	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅24.2ポイント	◎
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか 未実施	未
33 南大東村	2 ②	大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28 ～ R3	島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信の為、大型クルーズ船の寄港を誘致する。	クルーズ船客350人	クルーズ船客370人	◎
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R3	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか 100%	◎
33 南大東村	5 ①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ R3	各自宅で行われている葬儀等の負担軽減を図るため、葬祭場等の複合施設を整備する。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事一部完了	-	繰
34 北大東村	1 ①	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R3	島の文化資源である『八丈太鼓』の魅力を発信するため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助し、観光誘客を図る。	・島の観光入客者数：1,100人以上	・島の観光入客者数：1,027人	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
34 北大東村	1 ②	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24～R3	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客等を対象としたアンケートにより魅力的な景観形成が図られたかの割合（93%）	◎
34 北大東村	2	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25～R3	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。	・令和元年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生：国語、算数 ・4年生：国語、算数 ・5年生：国語、算数、理科 ・6年生：算数 ②中学校 県平均以上 ・1年生：数学 ・2年生：国語、数学、理科、社会、英語	令和元年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以下 県 58.0% 村 44.2% ②中学校 県平均以上 県 54.3% 村 60.2%	△
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24～R3	未就学児や幼稚園児の預かり保育支援員を配置し、預り保育を行い、保護者の育児への負担感を軽減する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合（80%以上）を含め事業のあり方を検証する。	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合（91%）	◎
34 北大東村	3 ②	離島の児童の交流促進事業	H24～R3	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	保護者に対するアンケートにより派遣された児童生徒が広い視野を持てたかの割合（100%）	◎
34 北大東村	3 ③	離島特別医療質確保推進事業	H24～R3	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に招聘し健康増進を図る。	・渡航費支援が必要な人への支援率：100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか（80%以上）を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・渡航費支援が必要な人への支援率：100% ・受診者へのアンケートにより心身の健康に関する不安が解消されたかの割合（100%）	◎
34 北大東村	4	北大東村景観形成事業	H26～R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備（伐採・植栽）を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客等を対象としたアンケートにより、魅力的な景観形成が図られたかの割合（93%）	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
34 北大東村	5	北大東村葬祭場建築事業	H30 ～ R1	地域住民の協力により各自宅で葬儀を行わざるを得ない住民の負担を軽減するため、葬祭場と火葬場の一体利用が可能な複合施設を整備する。	・葬祭場施設の整備	-	繰
34 北大東村	6	北大東村水産施設等海水供給施設整備事業	R1 ～ R2	鮮魚の島外出荷量の増加を図るため、鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給する海水供給施設を整備する。	・海水供給施設の整備	-	繰
34 北大東村	7	北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ R2	多様化する教育・保育ニーズへの対応及び園児の発育向上を図るため、認定こども園を整備する。	・認定子ども園の施設整備 ※一部完了	・認定子ども園の施設整備の一部完了	◎
34 北大東村	8	北大東小中学校地域副読本制作事業	R1 ～ R3	北大東島の歴史や文化をまとめた副読本を制作し、郷土学習を行うことにより、島の歴史、文化の継承を図る。	・副読本（小学校3,4年生、5,6年生用）の制作	・副読本（小学校3,4年生、5,6年生用）の制作完了	◎
35 伊平屋村	1	① 商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 1,210人以上	民泊利用者数：4,431人	◎
35 伊平屋村	1	② 観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証：80%	◎
35 伊平屋村	1	③ 誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 23,117人以上	村内入域観光客数：25,411人	◎
35 伊平屋村	1	④ 公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定天然記念物の念頭平松がある念頭平松平和公園の整備を行い、利便性を確保する。	ガイダンスサイン等設計の発注 完了 排水路整備工事（2工区）の発注 完了	-	繰
35 伊平屋村	1	⑤ 伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	螺鈿鞍修復の完了（100%） 漆工芸ワークショップの開催 ジオガイドブック作成完了	螺鈿鞍修復の完了：80% 漆工芸ワークショップの開催：未実施 ジオガイドブック作成完了：作成完了	△

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
35 伊平屋村	2 ①	病害虫防除事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	さとうきびの生産量 5,300トン	さとうきびの生産量：4,237トン	○
35 伊平屋村	2 ②	新伊平屋村製糖工場建設工事	H29 ～ R1	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ製糖施設を整備する。	原料ヤード整備工事の完了 外構工事の完了	-	繰
35 伊平屋村	2 ③	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R3	農家経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 106%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：108%	◎
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R3	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	①伝統文化教室への参加率100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 400名	①伝統文化教室への参加率100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 290名	○
35 伊平屋村	3 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校（国語・算数・理科） -3.15ポイント以上 中学校（国語・数学・理科・社会・英語） +0.05ポイント以上	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証：89.5% ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校（国語・算数・理科） -8.6ポイント 中学校（国語・数学・理科・社会・英語） -17ポイント	△
35 伊平屋村	3 ③	英語学習支援事業	H25 ～ R3	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証：80%	◎
35 伊平屋村	3 ④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証：80%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「緑」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
35 伊平屋村	3 ⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証：81%	◎
35 伊平屋村	4 ①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証：100%	◎
35 伊平屋村	4 ②	ウェルネスいへや推進事業	H27 ～ R3	運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	各種健康イベントへの総参加者数600人以上	各種健康イベントへの総参加者数：589人	○
35 伊平屋村	4 ③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証：100%	◎
35 伊平屋村	4 ④	生ゴミ等循環型資源活用事業	H28 ～ R2	生ゴミを堆肥化することにより、環境改善を図るため、生ゴミ処理機等を整備する。	堆肥化された生ごみの量： 3.9t	-	緑
35 伊平屋村	4 ⑤	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R1	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-10.3ポイント以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差：-7.6ポイント	◎
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め 97%	◎
36 伊是名村	1 ②	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R3	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いげな尚円王まつりの開催を支援する。	来場者数 2,500人以上	来場者数 2,411人	○
36 伊是名村	1 ③	いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R3	観光客の誘致を図るため、いげな88トライアスロン大会の開催を支援する。	大会参加者の満足度（80%以上）を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	大会参加者の満足度 72%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
36 伊是名村	1 ④	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	H24～R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 240人以上	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 183人	○
36 伊是名村	1 ⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26～R3	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数 587人以上	来場者数 626人	◎
36 伊是名村	1 ⑥	いいな運天港いちやり場まつり支援事業	H26～R3	観光客の誘致を図るため、いいな運天港いちやり場まつりの開催を支援する。	来場者数 1,100人以上	来場者数 1,084人	○
36 伊是名村	1 ⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め 83%	◎
36 伊是名村	1 ⑧	尚円王マラソン大会支援事業	H28～R3	観光客の誘致を図るため、尚円王マラソン大会の開催を支援する。	島外からのエントリー者数 182人以上	島外からのエントリー者数 268人	◎
36 伊是名村	2 ①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～R3	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか 90%	◎
36 伊是名村	2 ②	定住促進住宅整備事業	H30～R3	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	定住促進住宅建築工事の完了（仲田区） 実施設計完了（内花区）	定住促進住宅建築工事完了（仲田区） 実施設計完了（内花区）	◎
36 伊是名村	3 ①	人材育成事業（日高小との交流事業）	H24～R3	児童に広い視野を持たせるため、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広まったと感じたか 100%	◎
36 伊是名村	3 ②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24～R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか 95.0%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
36 伊是名村	3 ③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 92%	◎
36 伊是名村	3 ④	グッジョブ連携推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか 85.0%	◎
36 伊是名村	3 ⑤	学習支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	平成31年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -9.1ポイント以上 中学校 2.8ポイント以上	平成31年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -14.8ポイント以上 中学校 3.4ポイント以上	△
36 伊是名村	3 ⑥	学校ICT推進事業	R1 ～ R3	村内の公立学校へのICT環境整備及びICT活用支援員を配置し、学校教員のICTスキルの向上を図るとともにICT機器を活用することで分かりやすい授業を展開し学校教育の質の向上を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%）を含め、当該事業のあり方を検証する。  教員へのアンケートを実施し、ICT支援員を配置したことでICT機器の習熟度が上がったと答えた割合（80%）を含め、当該事業のあり方を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 90%  ICT支援員を配置できなかったため未実施	△
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量の増加を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	さとうきびの単収 5,400kg	さとうきびの単収 5,400kg	○
36 伊是名村	4 ②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ R3	畜産業の振興を図るため、肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102.6%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
37 久米島	1 ①	モズク加工工場機能強化事業	H24 ～ R3	モズク生産量の増加を図るため、久米島漁業協同組合が実施するモズク加工場の機能強化に係る取組に対して支援を行う。	加工場で製品化されたモズク製品の出荷量：2,461 t 以上/年  モズク製品： 養殖糸モズク（生冷凍）、養殖本モズク（生冷凍）、養殖本モズク（塩蔵）  ※モズク収穫時期が1月～6月であるため、指標は暦年（H31年1月～12月）の出荷目標	加工場で製品化されたモズク製品の出荷量：2,110 t /年	○
37 久米島	1 ②	優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	子牛の品質及び価格の向上を図るため、県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛を導入し、農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：107%以上	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：104%	未
37 久米島	2 ①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、現代ニーズに合わせた新商品の開発、販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う久米島紬事業協同組合へ支援を行う。	①反物売上額 6,000万円以上 ②小物売上額 1,500万円以上	①反物売上額 6,962万円 ②小物売上額 1,040万円	○
37 久米島	2 ②	久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ R3	島の特産品の売上増加を図るため、特産品の販路拡大に向け久米島商工会が行うPR活動へ支援を行う。	開催、出展した物産展における島特産品の販売額：2,645万円以上	開催、出展した物産展における島特産品の販売額：32,689千円	◎
37 久米島	2 ③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合：小中高平均84.6%	◎
37 久米島	3 ①	久米島観光誘客支援事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光案内及び観光広報活動を行う。併せて、町内で開催する観光関連イベントへ補助を行う。	①観光入域数 123,073人以上 ②イベント参加人数（島外からの参加者） 355人以上	①観光入域数 100,716人 ②イベント参加人数（島外からの参加者） 318人	○
37 久米島	3 ②	久米島観光プロモーション事業	H25 ～ R3	久米島町の認知度向上により観光誘客を図るため、久米島観光の魅力を各種メディア媒体で情報発信する。	①観光入域数 123,073人以上	観光入域数 100,716人	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
37 久米島	3 ③	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R3	修学旅行の受入増加及び観光関連商品の売上増加を図るため、修学旅行の誘致及び観光体験プログラムの販売促進を行う。	①修学旅行の受入校 10校以上 ②体験プログラム売上額 3,591,782円以上	①修学旅行の受入校 4校 ②体験プログラム売上額 3,464,292円	未
37 久米島	3 ④	久米島町観光危機管理体制構築事業	R1	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	・久米島町観光危機管理計画の策定完了	久米島町観光危機管理計画の策定完了	◎
37 久米島	3 ⑥	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R3	交流人口の増加を図るため、久米島へ来訪する人の航空運賃の負担を軽減させ、航空事業者が運賃を割り引いて販売した際の減収分を町が負担金として支払う。	・久米島町への入域者数：124,000人以上	・久米島町への入域者数：100,716人	○
37 久米島	4 ①	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ R1	災害時には地域住民や観光客等の安全確保を図るため、安全に避難生活をおくれる避難所を、平常時は地域住民の交流及び学習の場の確保を図るため、地域の交流拠点・学習施設として利用できる施設の整備を行う。	・建築工事の完了 ・機械設備工事の完了 ・備品購入の完了 ・図書システム構築の完了	-	繰
37 久米島	4 ②	子育て支援事業	H28 ～ R3	町民や観光客等の利便性確保を図るため、町民や観光客等が安心して遊べる公園を整備（東屋、トイレ、遊具の設置等）する。	・公園造成工事完了 ・公衆用便所新築工事完了	・公園造成工事完了 ・公衆用便所新築工事完了	◎
37 久米島	4 ③	久米島霊園整備事業	H30 ～ R2	墓地の散財化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	久米島霊園（納骨堂）の実施設計完了	久米島霊園（納骨堂）の実施設計完了	◎
37 久米島	4 ④	防災情報収集発信体制整備事業	H29 ～ R2	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	久米島町防災情報システム実施設計の完了	久米島町防災情報システム実施設計の完了	◎
37 久米島	6 ①	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・修復を行った古文書の利用件数40件以上 ・調査利用者4名 以上	・修復を行った古文書の利用件数69件 ・調査利用者9名	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
37 久米島	6 ②	久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ R3	地域の歴史文化の継承及び歴史文化を発信する人材の育成を図るため、久米島の歴史を題材とし小中高生が出演・参加する舞台演劇（現代版組踊り）を実施する。	①（歴史文化の継承） 観覧者数2回公演計：690名以上  ②（歴史文化を発信する人材育成） 参加した児童生徒を対象にアンケートを実施し、「取組に参加したことで久米島の歴史文化に関心を持ったか」（90%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①（歴史文化の継承） 観覧者数2回公演計：772名  ②（歴史文化を発信する人材育成） 参加した児童生徒を対象にアンケートを実施し、「取組に参加したことで久米島の歴史文化に関心を持ったか」と回答した割合：94%	◎
37 久米島	7 ①	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、小学生が英語に親しむ環境を創出する。	英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	英語に対する興味・関心が高まったと回答した割合：85%	◎
37 久米島	7 ②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う	沖縄県到達度調査において、国語、算数で 中学年（3年生・4年生）県平均6点以上 高学年（5年生・6年生）県平均以上 を目標とする。	沖縄県到達度調査において、国語、算数で 中学年（3年生・4年生）県平均+6点 高学年（5年生・6年生）県平均+6点	◎
37 久米島	7 ③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を各学校へ配置する。	特別支援教育支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度：87%	◎
37 久米島	7 ④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会へ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	派遣によって生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	派遣によって生徒の視野が広がったと回答した割合：88%	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生をハワイに派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方について検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた回答割合：100%	◎
38 八重瀬町	1 ②	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方について検証する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じた回答割合：100%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
38 八重瀬町	1 ③	八重瀬町外国語指導強化事業	H24～R3	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内幼小中学校に英語指導助手を配置する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査（英語）における、県と本町との平均正答率の差 ±0ポイント以上	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったとの対象児童のアンケート回答割合：96.02% ②中学校 沖縄県学力到達度調査（英語）における、県と本町との平均正答率の差 -0.03ポイント	△
38 八重瀬町	1 ④	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～R3	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、町内小中学校へパソコン指導員を配置し、パソコンを使用する授業のサポートを行う。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか（80%以上）を含め、ICT機器の活用のあり方を検証する。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたとの回答割合：90.5%	◎
38 八重瀬町	1 ⑤	八重瀬町学力向上支援事業	H25～R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校（国語・算数） ±0ポイント以上 中学校（国語・数学） -2.4ポイント以上	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校（国語・算数） -2.0ポイント 中学校（国語・数学） -0.37ポイント	△
38 八重瀬町	1 ⑥	八重瀬町特別支援員配置事業	H27～R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したとの回答割合：87.23%	◎
38 八重瀬町	1 ⑦	切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26～R3	生徒の学力の向上を図るため、町内中学生に対して放課後や休日等に学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査（国語・数学）において町平均正答率と県平均正答率の差を-2.4ポイント以上にすることを目標とする。	沖縄県学力到達度調査（国語・数学）における町平均正答率と県平均正答率の差 -0.37ポイント	◎
38 八重瀬町	1 ⑧	ICT教育強化事業	H26～R3	各小中学校へ電子黒板を配置したが、教室増に伴う電子黒板とパソコンに不足がある為、引き続き配置しICT活用状況のアップと学力向上を図る。	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の30%以上の活用を目指す。 ・児童にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の53%活用 ・児童にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったとの回答割合：92%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R3	伝統芸能の継承と観光客の誘致を図るため、町内イベントの開催支援を行う。	対象イベントへの来場者数 18,400人以上	対象イベントへの来場者数 12,300人	未
38 八重瀬町	2 ②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるとの回答割合：90%	◎
38 八重瀬町	2 ③	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R2	本町の歴史の継承と観光誘客を図るため、港川遺跡公園を整備する。	・港川遺跡公園整備工事の完了	・港川遺跡公園整備工事の完了	◎
38 八重瀬町	2 ④	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	野球キャンプの受け入れ 5件以上 サッカーキャンプの受け入れ 3件以上	野球キャンプの受け入れ 1件 サッカーキャンプの受け入れ 4件	△
38 八重瀬町	2 ⑤	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行いキャンプ受入時に必要なものを揃えることで、キャンプの誘致を行う。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・キャンプ期間中來客数10,000人 ・Jリーグチーム2チーム・海外プロサッカーチーム1チームの計3チームのキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額2,500,000円以上	・キャンプ期間中來客数2,898人 ・Jリーグチーム2チーム・海外プロサッカーチーム2チームの計4チームのキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額1,214,000円	△
38 八重瀬町	3 ①	八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ～ R3	町内にある既存の町産品について、町外・県外への販路拡大を図るため、商談会の実施等を行う。	商談が新規成立した事業者数 4件以上	商談が新規成立した事業者数 4件	◎
38 八重瀬町	3 ②	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	主要観光施設の入込観光客数 250,000人	主要観光施設の入込観光客数 267,000人	◎
38 八重瀬町	4 ②	八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%	◎
38 八重瀬町	4 ③	乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	生産乳量：3,960,000kg以上 乳質（脂肪率）：4.12%以上	生産乳量：4,164,070kg 乳質（脂肪率）：3.92%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
38 八重瀬町	5 ①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	児童生徒のスポーツへの意識を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で実施される各種大会への参加を支援する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったとの回答割合：90% ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたとの回答割合：100%	◎
38 八重瀬町	6 ①	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	環境負荷の少ない照明機器の導入により、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	東風平運動公園（野球場・ソフトボール場）の二酸化炭素排出削減量 4.7t	東風平運動公園（野球場・ソフトボール場）の二酸化炭素排出削減量 2.7t	未
38 八重瀬町	7 ①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R3	若い世代から高齢者まで元気でいきいきと生活できるよう「食」を通して健康づくりを推進する。健康相談や育児教室等にて実物大のフードモデルを活用し、食事バランスや量など現状の食生活を見直すきっかけとし、日頃の食生活で「考えて食べる」事を意識化できるように事業を展開する。そのことで、糖尿病や心疾患・脳卒中等の生活習慣病の予防し、早世予防・健康長寿を目指す。	保健事業を通して食生活や食習慣を考える機会をつくり、参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	保健事業を通して食生活や食習慣を考える機会をつくり、参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたとの回答割合：92%	◎
38 八重瀬町	8 ①	八重瀬町農業機械施設整備事業	R1 ～ R2	共同利用機械等を農業団体等へ貸与することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。	農業機械の導入 （液肥散布車及びびいも類収穫機等）	農業機械の導入 （液肥散布車及びびいも類収穫機等）	◎
38 八重瀬町	9 ①	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業	R1 ～ R2	学童疎開に関する資料の収集や当時を知る方々からの聞き取り調査をはじめ、日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料を調査・収集しまとめる。	・沖縄戦及び学童疎開に関する資料収集及び聞き取り調査完了 ・日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料の調査・収集完了	・沖縄戦及び学童疎開に関する資料収集及び聞き取り調査完了 ・日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料の調査・収集完了	◎
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証:88%	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
39 多良間村	1 ②	観光関連施設整備事業（食事・土産品施設）	H27～R1	観光誘客及び観光客の利便性確保並びに災害時における住民及び観光客等の安全確保を図るため、多良間村地域振興拠点施設を整備する。	施設の整備工事の完了 駐車場の整備工事完了 太陽光発電の設置工事完了	-	繰
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27～R1	農家の経営安定化に向けて、肉用牛生産基盤の強化及び質の向上により、生産体制の拡充を図るため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖牛導入の支援完了：30頭	優良繁殖牛導入の支援完了：30頭	◎
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27～R3	島外の児童生徒との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会に参加する児童生徒に対して、航空運賃等の補助を行う。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証：97%	◎
39 多良間村	3 ②	学力向上推進ALT活用事業	H27～R3	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・中学校 英検の合格率50%以上	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証：83% ・中学校 英検の合格率：58%	◎
39 多良間村	3 ③	村営学習塾開設事業	H28～R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数（数学）・英語を中心とした学習支援を実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数） -5ポイント以上 ・中学校（国語・数学・英語） -6ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数） -4.8ポイント ・中学校（国語・数学・英語） -2.2ポイント	◎
39 多良間村	3 ④	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29～R2	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。	整備工事の完了	整備工事の完了	◎
39 多良間村	3 ⑤	多良間村就業意識向上支援事業	H30～R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証：79%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
39 多良間村	3 ⑥	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	村の歴史・自然・しまくとぅばの継承と観光誘客を図るため、郷土資料の修復、自然環境の調査等を行う。	郷土資料の修復・複製本作成完了 郷土資料の電子化完了 自然環境の調査完了（動植物）	郷土資料の修復・複製本作成完了 郷土資料の電子化完了 自然環境の調査完了（動植物）	◎
39 多良間村	4 ①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R3	離島における定住環境の改善を図るため、高額である宮古島⇄多良間島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証：88.3%	◎
39 多良間村	5 ①	防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ R1	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。	止壁の設置完了	止壁の設置完了	◎
40 竹富町	1 ①	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R3	集団検診（住民健診・胃がん検診・婦人がん検診）時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。	集団検診受診者数 2,091人	集団検診受診者数 1,713人	○
40 竹富町	1 ②	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ～ R3	西表島西部、東部地区で送迎サービスを実施し、高齢者及び障害者等の社会的孤立感の解消を図る。	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか（80%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたとの回答割合：100%	◎
40 竹富町	1 ③	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ～ R3	島々を結ぶ旅客船の船賃に対し支援を実施し、生活の利便性を確保する。	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたとの回答割合：98%	◎
40 竹富町	1 ④	干立地区防災機能改善事業	H29 ～ R1	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	工事及び環境モニタリングの完了	工事及び環境モニタリングの完了	◎
40 竹富町	1 ⑤	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R3	保護者の負担軽減等を図るため、複合型福祉施設を整備する。	・建設工事（西表東部）の完了 ・実施設計委託業務（竹富、小浜）の完了	-	繰
40 竹富町	1 ⑥	西表東部公園整備事業	H29 ～ R3	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	・公園整備整備工事の完了	・公園整備整備工事の完了	◎

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
40 竹富町	2 ①	観光誘客・受入対策事業	H26 ～ R1	竹富町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受入体制強化・整備を行い、観光誘客等を図る。	・入域観光客数 1,049,927人以上  ・観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度（「とても満足」：58%）を達成することを指標とする。	・入域観光客数 1,026,590人  ・観光入域者を対象とした観光満足度のアンケート結果：90.3%	○
40 竹富町	2 ③	船浮イダの道散策路整備事業	R1 ～ R2	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として舗装する。	実施設計業務委託の完了	実施設計業務委託の完了	◎
40 竹富町	3 ①	児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合：95.4%	◎
40 竹富町	3 ②	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	外国語活動指導員を配置し、児童の外国語のコミュニケーション能力の向上を図る。	・アンケート調査により、児童生徒の興味関心の向上について検証を図る。アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート調査により、児童生徒の興味関心が高まったとの回答割合：77%	○
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 1.22%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 7.16%	◎
40 竹富町	4 ②	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R3	ペットの適正飼育への啓発や逸失したペットの保護・収容を実施し、逸失したペットによるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	・逸失ペット等の保護・収容頭数18頭（H25～H29の平均）以内	・逸失ペット等の保護・収容頭数5頭	◎
40 竹富町	4 ③	文化財美化保全事業	H24 ～ R3	本町が有する国指定文化財等の美化保全を行い、町民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用する。	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られているか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られているとの回答割合：77.1%	○

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
40 竹富町	4 ④	登録有形文化財（建造物）なごみの塔周辺整備事業	R1	登録文化財を活用し観光誘客を図るため、危険建造物となっている登録有形文化財（建造物）なごみの塔を修理し、観光イベントに活用する。	登録有形文化財（建造物）なごみの塔修理工事の完了	登録有形文化財（建造物）なごみの塔修理工事の完了	◎
41 与那国町	1 ①	地域振興対策事業	H24～R3	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	・カジキ釣り大会参加者数 110人 ・与那国島一周マラソン大会参加者数 700人	・カジキ釣り大会参加者数 135人 ・与那国島一周マラソン大会参加者数 616人	○
41 与那国町	1 ②	与那国島特産品アピール力強化事業	H25～R3	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。	・参加した物産展における与那国島製品の売上高：190万円以上	・参加した物産展における与那国島製品の売上高：154万	○
41 与那国町	1 ③	与那国町誘客促進活性化事業	H30～R3	県内外へのプロモーション、観光パンフレット作成、トップセールス及び観光意識調査を行うことで、観光誘客に繋げる。	・与那国観光物産・伝統芸能フェア来場者数 490人 ・チャーター便による観光入域客数 990人	・与那国観光物産・伝統芸能フェア来場者数 4,627人 ・チャーター便による観光入域客数 370人	△
41 与那国町	1 ④	与那国町観光地整備事業	H29～R3	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「西崎展望台」の充実を図り整備実施する。	・西崎展望台駐車場及びトイレ施設の設計完了	－	繰
41 与那国町	1 ⑤	海底景観資源調査事業	H29～R1	与那国を象徴する海底地形に対して、最先端のマルチビーム測深調査を実施し、観光資源として適切な活用及び保全、学術研究の基礎となる海底精密地形図を作成する。	・海底精密地形図（原図）の完成 ・海底精密地形図（完成図）の完成	・海底精密地形図（原図）の完成 ・海底精密地形図（完成図）の完成	◎
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25～R3	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 124%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102%	未

# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
41 与那国町	2 ②	農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	与那国町は、離島のさらに離島であるが為、地理的不利性を解消し、農水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が出荷する生鮮水産物及び農業協同組合、農業生産法人、その他団体が出荷する野菜、果樹、薬用作物の沖縄県内への空路輸送料に対し支援を行う。	・生鮮水産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：29.4% ・農産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：62.0%	・生鮮水産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：23% ・農産物：出荷量に占める沖縄本島への出荷割合：63%	○
41 与那国町	2 ③	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R3	与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業従事者の維持確保を図る。	・町内の漁業従事者数：34人以上	・町内の漁業従事者数：35人	◎
41 与那国町	3 ①	与那国町工芸館施設整備事業	H29 ～ H30	伝統工芸品である「花織り」の情報発信、織物体験、後継者育成等を実施することで産業振興を図る。	・実施設計の完了	-	繰
41 与那国町	4 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。	・月例学力検査（年4回実施）にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合： 小学校 35% 以上 中学校 18% 以上	・月例学力検査（年4回実施）にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合： 小学校 28% 以上 中学校 15% 以上	○
41 与那国町	4 ②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R3	町内の児童生徒の各種大会派遣費（航空運賃等）を支援することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	・対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったか：100%	◎
41 与那国町	4 ③	地域国際交流事業	H24 ～ R3	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか：100%	◎
41 与那国町	4 ④	ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ～ R3	町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への短期ホームステイの支援を行い、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成等を図る。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか：100%	◎



# 令和元年度現年事業沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R1成果目標（指標）	R1成果実績（指標）	評価
41 与那国町	5 ①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R3	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、保護者の子育て支援をする。	・安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか：100%	◎
41 与那国町	6 ①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため、島内に住む妊婦等が継続して島外での妊婦健診等医療サービスを受けられるよう、支援を行う。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 90%	○
41 与那国町	7 ①	公共交通路線支援事業	H24 ～ R3	地方バス運営に必要な支援をすることにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	・利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・利便性の確保が図られたか：99%	◎
41 与那国町	7 ②	与那国島古民家活用型定住促進事業	H26 ～ R1	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、古民家解体並びに解体古材資源活用マニュアルの作成を実施し、町内建設事業者の関与を促進すべく、技能研修機会を事業に盛り込む。古材を重視した耐震補強、部材修理等を含め、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた設計監理業務、定住促進住宅整備工事を実施する。	・シニア型夫婦向け定住用住宅1戸の設計完了	・シニア型夫婦向け定住用住宅1戸の設計完了	◎
41 与那国町	7 ③	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1	本町の地理的優位性を活かし交流人口の増加を図るため、国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。今年度は基礎調査を行い、行動計画を策定する。	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務報告書の完成	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務報告書の完成	◎
41 与那国町	7 ④	与那国町デマンド交通運行事業	R1	住民及び観光客の島内交通に係る利便性の確保を図るため、ICTを活用したデマンド交通を導入する。	・与那国町デマンド交通試行運行評価書の完成	・与那国町デマンド交通試行運行評価書の完成	◎